スタイリッシュAVミニコンポ

X-SMC5-K

インターネットによるお客様登録のお願い

http://pioneer.jp/support/

このたびは、パイオニア製品をお買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。弊社では、お買い上げいただいたお客様に「お客様登録」をお願いしています。上記アドレスからご登録いただくと、ご使用の製品についての重要なお知らせなどをお届けいたします。なお、上記アドレスは、困ったときのよくある質問や各種お問い合わせ先の案内、カタログや取扱説明書の閲覧など、お客様のお役に立てるサービスの提供を目的としたページです。

取扱説明書

安全上のご注意

● 安全にお使いいただくために、必ずお守りください。
● ご使用の前にこの「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。

この取扱説明書および製品には、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の方々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。
内容をよく理解してから本文をお読みください。

警告

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

注意

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が損害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

絵表示の例

△ 記号は注意（警告を含む）しなければならない内容であることを示しています。図の中に具体的な注意内容（左図の場合は感電注意）が描かれています。

⃠ 記号は禁止（やってはいけないこと）を示しています。図の中や近くに具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。

● 記号は行動を強制したり指示したりする内容を示しています。図の中に具体的な指示内容（左図の場合は電源プラグをコンセントから抜け）が描かれています。

⚠ 警告

異常時の処置

● 万一煙が出ている、変なにおいや音がするなどの異常状態のまま使用すると火災・感電の原因となります。すぐに機器本体の電源スイッチを切り、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。煙が出なくなるのを確認して販売店に修理をご依頼ください。お客様による修理は危険ですから絶対おやめください。

● 万一内部に水や異物等が入った場合は、まず機器本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

● 万一本機を落としたり、カバーを破損した場合は、機器本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

設置

● 電源プラグの刃および刃の付近にほこりや金属物が付着している場合は、電源プラグを抜いてから乾いた布で取り除いてください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

● 電源コードの上に重いものをのせたり、コードが本機の下敷きにならないようにしてください。また、電源コードが引っ張られないようにしてください。コードが傷ついて、火災・感電の原因となります。コードの上を敷物などで覆うことにより、それに気付かず、重い物をのせてしまうことがあります。

● 放熱をよくするため他の機器、壁等から間隔をとり、またラックに入れる時はすき間をあけてください。また、次のような使い方で通風孔をふさがないでください。内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。
→ あおむけや横倒し、逆さまにする。
→ 押し入れなど、風通しの悪い狭いところに押し込む。
→ じゅうたんやふとんの上に置く。
→ テーブルクロスなどをかける。

● **着脱式の電源コード（インレットタイプ）が付属している場合のご注意：**付属の電源コードはこの機器のみで使用することを目的とした専用部品です。他の電気製品ではご使用になれません。他の電気製品で使用した場合、発熱により火災・感電の原因となることがあります。また電源コードは本製品に付属のもの以外は使用しないでください。他の電源コードを使用した場合、この機器の本来の性能が出ないことや、電流容量不足による発熱から火災・感電の原因となることがあります。

● 指定以外の AC アダプターは使用しないでください。火災・感電の原因となります。

● 付属の AC アダプターは本機専用です。絶対に他の機器に使用しないでください。火災・感電の原因となります。

● AC アダプターは、乳幼児の手が届く所に置かないでください。AC アダプターのコードが誤って首に巻きついた場合、窒息する恐れがあります。

● 本機の上に火がついたろうそくなどの裸火を置かないでください。火災の原因となります。

使用環境

- この機器に水が入ったり、ぬれたりしないようにご注意ください。火災・感電の原因となります。雨天、降雪中、海岸、水辺での使用は特にご注意ください。

- 風呂場・シャワー室等では使用しないでください。火災・感電の原因となります。

- 表示された電源電圧（交流 100 ボルト 50 Hz/60 Hz)以外の電圧で使用しないでください。火災・感電の原因となります。

- この機器を使用できるのは日本国内のみです。船舶などの直流（ＤＣ）電源には接続しないでください。火災の原因となります。

使用方法

- 本機の上に花びん、植木鉢、コップ、化粧品、薬品や水などの入った容器または小さな金属物を置かないでください。こぼれたり、中に入った場合、火災・感電の原因となります。

- ぬれた手で（電源）プラグを抜き差ししないでください。感電の原因となることがあります。

- 本機の通風孔などから、内部に金属類や燃えやすいものなどを差し込んだり、落とし込んだりしないでください。火災・感電の原因となります。特にお子様のいるご家庭ではご注意ください。

- 本機のカバーを外したり、改造したりしないでください。内部には電圧の高い部分があり、火災・感電の原因となります。内部の点検・整備・修理は販売店にご依頼ください。

- 電源コードを傷つけたり、加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、加熱したりしないでください。コードが破損して火災・感電の原因となります。コードが傷んだら（芯線の露出、断線など)、販売店に交換をご依頼ください。

- 雷が鳴り出したらアンテナ線や電源プラグには触れないでください。感電の原因となります。

⚠注意

設置

- 電源プラグはコンセントに根元まで確実に差し込んでください。差し込みが不完全ですと発熱したり、ほこりが付着して火災の原因となることがあります。また、電源プラグの刃に触れると感電することがあります。

- 電源プラグは、根元まで差し込んでもゆるみがあるコンセントに接続しないでください。発熱して火災の原因となることがあります。販売店や電気工事店にコンセントの交換を依頼してください。

- ぐらついた台の上や傾いたところなど不安定な場所に置かないでください。落ちたり、倒れたりしてけがの原因となることがあります。

- 本機を調理台や加湿器のそばなど油煙、湿気あるいはほこりの多い場所に置かないでください。火災・感電の原因となることがあります。

- テレビ、オーディオ機器、スピーカー等に機器を接続する場合は、それぞれの機器の取扱説明書をよく読み、電源を切り、説明に従って接続してください。また、接続は指定のコードを使用してください。

- 本機の上に重いものや外枠からはみ出るような大きなものを置かないでください。バランスがくずれて倒れたり、落下してけがの原因となることがあります。

- 本機の上にテレビを置かないでください。放熱や通風が妨げられて、火災や故障の原因となることがあります。（取扱説明書でテレビの設置を認めている機器は除きます。）

- 電源プラグを抜く時は、電源コードを引っ張らないでください。コードが傷つき火災・感電の原因となることがあります。必ずプラグを持って抜いてください。

- 電源コードを熱器具に近づけないでください。コードの被ふくが溶けて、火災・感電の原因となることがあります。

- 移動させる場合は、電源スイッチを切り必ず電源プラグをコンセントから抜き、外部の接続コードを外してから、行ってください。コードが傷つき火災・感電の原因となることがあります。

- 本機の上にテレビやオーディオ機器をのせたまま移動しないでください。倒れたり、落下してけがの原因となることがあります。重い場合は、持ち運びは 2 人以上で行ってください。

- 窓を閉め切った自動車の中や直射日光が当たる場所など異常に温度が高くなる場所に放置しないでください。火災の原因となることがあります。

使用方法

- 音が歪んだ状態で長時間使わないでください。スピーカーが発熱し、火災の原因となることがあります。

- 本機に乗ったり、ぶら下がったりしないでください。特にお子様はご注意ください。倒れたり、壊れたりしてけがの原因になることがあります。

- 旅行などで長期間ご使用にならない時は安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。

- 小さな部品はお子様や幼児の手の届かない場所に保管してください。誤って飲み込んだ場合は、ただちに医師にご連絡ください。

電池

- 指定以外の電池は使用しないでください。また、新しい電池と古い電池を混ぜて使用しないでください。電池の破裂、液漏れにより、火災・けがや周囲を汚損する原因となることがあります。

- 電池を機器内に挿入する場合、極性表示（プラス(＋)マイナス(－)の向き）に注意し、表示どおりに入れてください。間違えると電池の破裂、液漏れにより、火災・けがや周囲を汚損する原因となることがあります。

- 長時間使用しない時は、電池を取り出しておいてください。電池から液が漏れて火災、けが、周囲を汚損する原因となることがあります。もし液が漏れた場合は、電池ケースについた液をよく拭き取ってから新しい電池を入れてください。また万一、漏れた液が身体についた時は、水でよく洗い流してください。

- 電池は加熱したり分解したり、火や水の中に入れないでください。電池の破裂、液漏れにより、火災、けがの原因となることがあります。

保守・点検

- 5 年に一度くらいは内部の掃除を販売店などにご相談ください。内部にほこりがたまったまま、長い間掃除をしないと火災や故障の原因となることがあります。特に湿気の多くなる梅雨期の前に行うとより効果的です。なお、掃除費用については販売店などにご相談ください。

- お手入れの際は安全のために電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。

注意

この製品は、レーザ製品の安全基準 IEC 60825-1 : 2007 規格の基で評価されたクラス 1 レーザ製品です。

クラス 1 レーザ製品

D58-5-2-2a_A1_Ja

本機の使用環境について

本機の使用環境温度範囲は5 ℃～35 ℃、使用環境湿度は85 %以下(通風孔が妨げられていないこと)です。

風通しの悪い所や湿度が高すぎる場所、直射日光(または人工の強い光)の当たる場所に設置しないでください。

D3-4-2-1-7c_A1_Ja

この製品をご使用の際は、製品底面およびACアダプターのラベルに表示している安全に関する情報をご確認ください。

D3-4-2-2-4_B1_Ja

- 取扱説明書に掲載しているイラストは説明のために変更、簡略化しています。実際の表示とは異なることがあります。

もくじ

はじめに

接続する

各部のなまえ

初期設定

iPod/iPhone の音楽や映像を楽しむ

Bluetooth 機能搭載機器の音楽を楽しむ

ディスクの音楽や映像を楽しむ

USB メモリーの音楽を楽しむ

インターネットラジオを楽しむ

ミュージックサーバーで音楽を楽しむ

FM ラジオを聴く

他機器の音楽を聴く

各種設定

再生できるディスク／ファイル

その他

はじめに

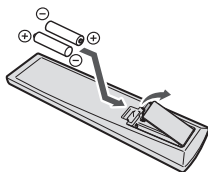
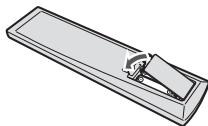
付属品を確認する

- リモコン × 1
- 単４形乾電池（AAA/R03）× 2
- FM 簡易アンテナ × 1
- ビデオケーブル × 1
- AC アダプター × 1
- ステッカー × 1
- 電源コード
- 保証書
- 取扱説明書（本書）

リモコンを使う前に

電池を交換するときは

電池は単４形乾電池（AAA/R03）を使用します。

1　裏ブタを開いて、ケース内に表記されている極性に合わせて乾電池を入れる

2　裏ブタを閉める

本機に付属の電池は動作確認用のため、短期間で寿命となることがあります。電池を交換するときは、長期間使用可能な市販のアルカリ電池をお勧めします。

- 電池を直射日光の強いところや、炎天下の車内・ストーブの前などの高温の場所で使用・放置しないでください。電池の液漏れ、発熱、破裂、発火の原因になります。また、電池の性能や寿命が低下することがあります。

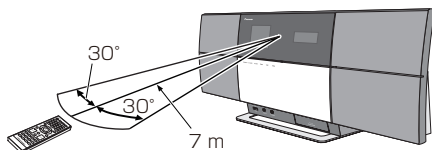
注意

電池を誤って使用すると、液漏れしたり破裂したりする危険性があります。以下の点について特にご注意ください。

- 電池でリモコンのマイナス端子を押し曲げないようにしてください。電池がショートする可能性があります。
- 新しい乾電池と一度使用した乾電池を混ぜて使用しないでください。
- 乾電池のプラス⊕とマイナス⊖向きを電池ケースの表示どおりに正しく入れてください。
- 電池は加熱したり、分解したり、火や水の中に入れないでください。
- 乾電池には同じ形状でも電圧の異なるものがあります。種類の違う乾電池を混ぜて使用しないでください。
- 長い間（1 か月以上）使用しないときは、電池の液漏れを防ぐために電池を取り出してください。もし、液漏れを起こしたときは、ケース内についた液をよく拭き取ってから新しい電池を入れてください。
- 不要となった電池を廃棄する場合は、各地方自治体の指示（条例）に従って処理してください。

リモコンの操作範囲

本機をリモコンで操作するときは、下記の範囲内でリモコンを前面のリモコン受光部に向けてください。

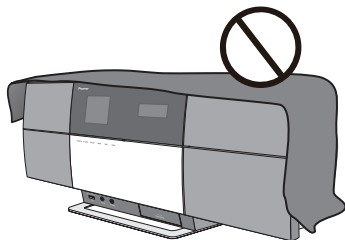
- リモコン受光部との間に障害物があったり、受光部との角度が悪いとリモコン操作ができない場合があります。
- 直射日光や蛍光灯の強い光がリモコン受光部に直接当たると、リモコン操作できないことがあります。そのようなときは、設置場所を変えたり、蛍光灯を離してください。
- 赤外線を出す機器の近くで本機を使用したり、赤外線を利用した他のリモコン装置を使用したりすると、誤動作することがあります。逆に赤外線によってコントロールされる他の機器を使用時にこのリモコンを操作すると、その機器を誤動作させることがあります。
- リモコンの操作可能範囲が極端に狭くなってきたら、電池を交換してください。

本機を設置する

本機を設置するときは、必ず平らで安定した面に設置してください。

- 次のような場所には本機を設置しないでください。
  - テレビの上（映像が歪むことがあります）
  - カセットデッキまたは磁気を発する機器の近く (音声に悪影響を与えることがあります）
  - 直接日光のあたる場所
  - 湿気のある場所
  - 水がかかりやすい場所
  - 高温または低温の場所
  - 振動のある場所
  - ホコリやタバコの煙の多い場所
  - 台所など煙が出たり油を使用する場所
- ソファーなどの吸音性がある素材の上に本機を置くと、正しい音質が得られないことがあります。

設置について

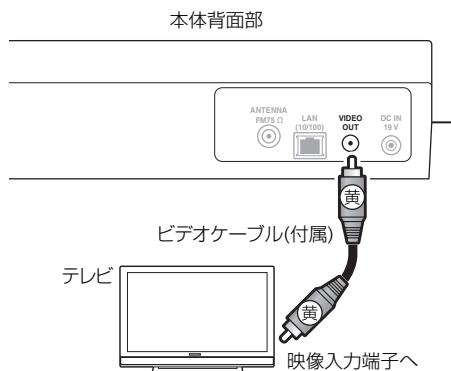
注意

- 放熱のため、本機の上に物を置いたり、布やシートなどを被せた状態でのご使用は絶対におやめください。異常発熱により故障の原因となる場合があります。

- 本機を設置する場合には、壁から 10 cm以上の間隔をおいてください。また、放熱をよくするために、他の機器との間は少し離して設置してください。ラックなどに入れるときには、本機の天面から 10 cm以上、背面から 10 cm以上、側面から 10 cm以上のすきまをあけてください。内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。

接続する

⚠ 注意

- 機器の接続を行う場合、あるいは変更を行う場合には、必ず電源スイッチを切り、電源コードをコンセントから抜いてください。
- 電源コードは、機器の接続がすべて終わってから接続してください。

ビデオケーブルで接続する

メモ

- iPod/iPhone を本機に接続すると、iPod/iPhone 本体の TV 出力設定が自動でオンになります。
- いくつかの iPod では、接続中に iPod 本体でビデオ再生の設定を切り換えられます。
- iPod/iPhone を本機から取り外すと、iPod/iPhone 本体の TV 出力設定が接続前の状態に戻ります。
- iPod/iPhone の映像が白黒になってしまうときは、iPod/iPhone のテレビ信号出力の設定が NTSC になっているか確認してください。
- この機器を、ビデオデッキを介して接続しないでください。ビデオデッキを介して供給されたビデオ信号は、著作権保護システムの影響によって、テレビで観たときに歪んだ画像になる可能性があります。

HDMI ケーブルで接続する

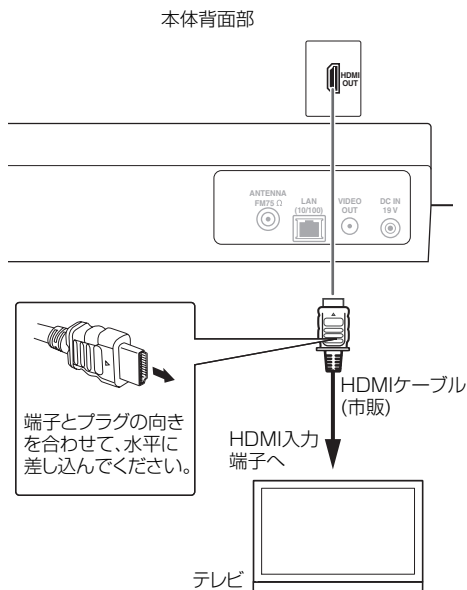
本機と HDMI 対応のテレビなどを HDMI ケーブルで接続すると、デジタル映像と音声を 1 本のケーブルで音質を低下がすることなく伝送できます。
接続したあとは、本機の設定を変更してください（34 ページ）。また、HDMI 対応のテレビの取扱説明書などをご覧ください。

HDMI

HDMI、HDMI ロゴ、および High-Definition Multimedia Interface は、HDMI Licensing, LLC の米国とその他の国における商標または登録商標です。

メモ

- DVD/CD 以外の音声は HDMI OUT 端子から出力されません。

テレビを接続する

- HDMI ケーブルで本機とテレビを接続しても、テレビの音声を本機で出力できません。テレビの音声を本機で聞くときは、ステレオミニプラグ付きケーブルを本体前面部の AUX IN 端子に接続してください。

メモ

- DVD/CD の再生中は、映像と音声のデジタル信号が HDMI OUT 端子から出力されます。DVD/CD 以外の映像を見るときは、ビデオケーブル（付属）を接続してください。
- 本機は HDMI の仕様に基づいて設計されています。
- HDMI OUT 端子から出力される信号は手動で変更します。HDMI 画素数を変更してください(34 ページ)。接続されている両方の機器の設定を保存できます。
- 本機は HDMI 対応機器との接続を目的に設計されています。DVI 対応機器に接続すると、正しく動作しないことがあります。

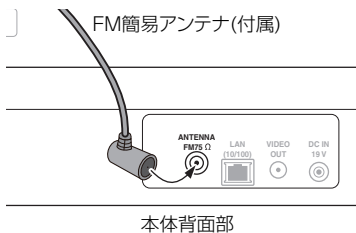
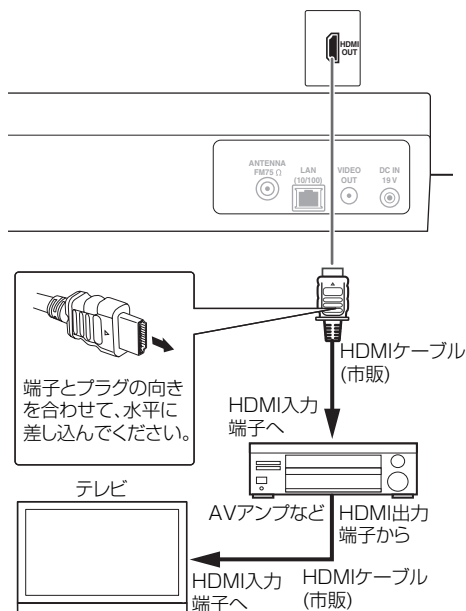
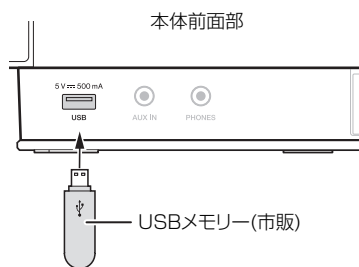
AV アンプなどを接続する

本機の HDMI OUT 端子から伝送できる音声

- 44.1 kHz ～ 96 kHz、16 bit/20 bit/24 bit の 2 チャンネルリニア PCM 音声（2 チャンネルダウンミックス含む）
- ドルビーデジタル 5.1 チャンネル音声
- DTS 5.1 チャンネル音声
- MPEG 音声

DOLBY DIGITAL

- ドルビーラボラトリーズからの実施権に基づき製造されています。Dolby、ドルビー及びダブル D 記号はドルビーラボラトリーズの商標です。

FM アンテナを接続する

USB メモリーを接続する

ネットワークに接続する

本機をネットワークに接続すると、パソコンなどのネットワークに接続された機器に保存されているファイルを再生したり、インターネットラジオを聞くことができます。

本機の LAN 端子とルーターの LAN 端子をストレート LAN ケーブル（CAT 5 またはそれ以上）で接続します。ワイヤレスでもネットワークに接続できます。ルーターに DHCP サーバー機能があるときは、DHCP サーバー機能をオンにしてください。ルーターに DHCP サーバー機能がないときは、手動でネットワークの設定をします。（37 ページ）

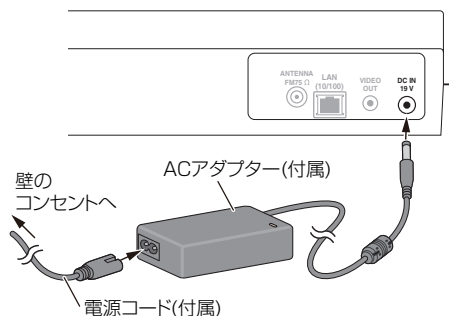
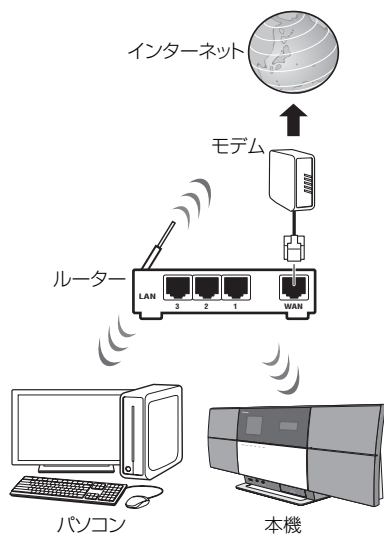
LAN ケーブルで接続する

ワイヤレス LAN で接続する

> **メモ**
> - インターネットラジオを聞くときや時刻を自動で調節するときは、インターネットサービスを提供しているプロバイダーとの契約・料金が別途必要です。
> - 動画または静止画のファイルは再生できません。
> - Windows Media Player 11 または Windows Media Player 12 をお使いのときは、本機では著作権保護された音楽ファイルも再生できます。

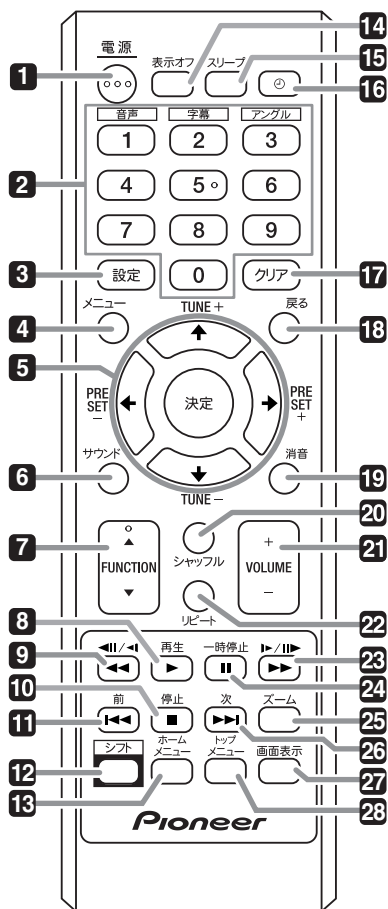
電源コードを接続する

電源コードを壁のコンセント（AC 100 V）に接続します。電源コードは、機器の接続がすべて終わってから接続してください。

> **重要**
> - 本機背面端子の接続を行うときは、電源をスタンバイにしてから電源コードを抜いて行ってください。

1　AC アダプター (付属) を本体背面部の DC IN 端子に接続する

2　電源コード (付属) を AC アダプターに接続して、電源プラグを壁のコンセントに接続する

各部のなまえ

リモコン

1　電源

電源のオン / オフ（スタンバイ）を切り換えます。

2　数字ボタン

数字ボタンで、CD、DVD のチャプターやトラック、ファイルの番号などを入力するときに使用します。FM ラジオを聴いているときは、プリセットしたラジオ局を呼び出すことができます。

音声 ＊

複数の音声があるディスクやファイルを再生中、音声を切り換えます。iPod/iPhone のファイルを再生中は、このボタンは使用できません。

字幕 ＊

複数の言語の字幕がある DVD ビデオまたは DivX ディスクを再生中、字幕を切り換えます。

アングル ＊

複数のアングルがある DVD ビデオディスクを再生中、アングルを切り換えます。

＊：シフトボタンを押しながら、各ボタンを押してください。

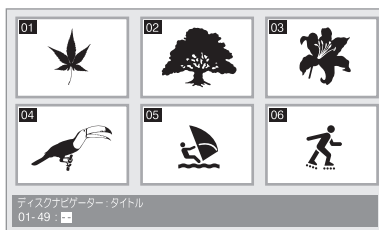
3　設定

本機の設定を変更するときに使います。（32 ページ）

4　メニュー

テレビにディスクのメニュー画面またはディスクナビゲーター画面が表示されます。

- ディスクナビゲーターからタイトル、チャプター、トラックまたはファイルを選択して再生します。

例　DVD ビデオディスクナビゲーター

5 ⬆/⬇/⬅/➡
項目を選んだり、設定を変更するときなどに使います。また、カーソルを移動します。
決定
選んだ項目を実行する、または変更した設定を確定するときなどに使います。

PRESET ＋ / －
プリセットしたラジオ局を選択します。(30ページ)

TUNE ＋ / －
ボタンを押すたびにラジオの周波数を切り換えます。1 秒以上長押しすると、ラジオ局を受信するまで、自動で周波数を切り換えます。(30ページ)

6 サウンド
バーチャルサラウンド機能とサウンドレトリバー機能のオン / オフを切り換えます。また、高音と低音を調節します。(42 ページ)

7 FUNCTION ▲/▼
本機の入力を切り換えます。ボタンを押すたびに、入力が下記の順に切り換わります。
iPod↔BT Audio↔Air Jam↔DVD/CD↔USB↔FM↔Internet Radio↔Music Server↔AUX（外部入力）↔（最初に戻る）

8 ▶ 再生
再生を開始します。

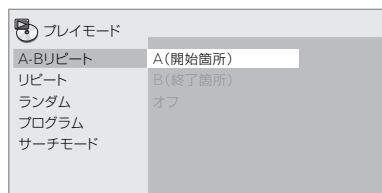
9 ◀◀/◀II/ ◀I
- 再生中は早戻しします。
- 一時停止中はコマ戻しします。(DVD ビデオまたは DVD VR ディスクのみ)
- 一時停止中に押し続けると、ゆっくり戻し再生します。(DVD ビデオまたは DVD VR ディスクのみ)

10 ■ 停止
再生を停止します。ディスクを再生中に押すと、再生していたところを記憶し、再生を停止します。▶ **再生ボタン**を押すと記憶したところから再生します。(MP3 と WMA ファイルを除く)

11 I◀◀ 前
タイトル、チャプター、トラックまたはファイルを頭出しします。2 回押すと、1 つ前のタイトル、チャプター、トラックまたはファイルを頭出しします。

12 シフト
数字ボタンの上の四角で囲まれたボタン（たとえば 音声 1 など）はシフトボタンを押しながら操作します。
詳しくは 11 ページ「数字ボタン」の「音声」、「字幕」、「アングル」をご覧ください。

13 ホームメニュー
DVD/CD を選んでいるとき、テレビにホームメニューを表示します。他の入力を選んでいるときは、表示されません。

- **音場設定** (33 ページ)
- **画質調整** (34 ページ)
- **プレイモード** (下記)

A-B リピート
1 つのタイトルまたはトラック内の指定した箇所を繰り返し再生します。
リピート
タイトル、チャプター、トラックまたはファイルを繰り返し再生します。
ランダム
タイトル、チャプター、トラックを順不同に再生します。
プログラム
指定した順番でタイトル、チャプター、トラックまたはファイルを再生します。(24 ページ)
サーチモード
指定した番号や時間でタイトル、チャプター、トラックを再生します。

再生するディスクやファイルによっては、プレイモードが働かないこともあります。
- **ディスクナビゲーター** (「メニュー」11 ページ)
- **初期設定** (34 ページ)

14 表示オフ
本機のディスプレイを消灯したいときに押します。

15 スリープ
スリープタイマーを設定し、スリープタイマーの時間を選択します。(37 ページ)

16 ⌚
タイマーのオン/オフを切り換えます。(36 ページ)

17 クリア
選んだ項目を取り消します。番号の入力を間違えたときなどに使用します。

18 戻る
本体設定画面、ディスクのメニュー画面、またはディスクナビゲーター画面で、1 つ前の画面に戻ります。

19 消音
消音します。もう一度押すと解除されます。

20 シャッフル
iPod/iPhone、DVD/CD、USB メモリー、またはミュージックサーバーのトラックを順不同に再生します。

21 VOLUME – /+
スピーカー音量を調節します。
（お買い上げ時：10）

22 リピート
iPod/iPhone、DVD/CD、USB メモリー、またはミュージックサーバーのトラックを繰り返し再生します。

23 ►►/ I► /II►
- 再生中は早送りします。
- 一時停止中はコマ送りします。（DVD ビデオ、DVD VR、ビデオ CD または DivX ディスクのみ）
- 一時停止中に押し続けると、ゆっくり送り再生します。（DVD ビデオ、DVD VR、ビデオ CD または DivX ディスクのみ）

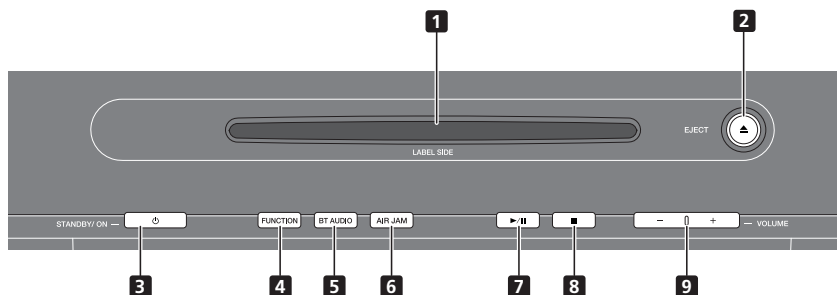
24 II 一時停止
再生を一時停止します。

25 ズーム
DVD/CD の再生中に、画像を拡大 / 縮小します。iPod/iPhone のファイルを再生中は、このボタンは使用できません。

26 ►►I 次
次のタイトル、チャプター、トラックまたはファイルに進みます。

27 画面表示
DVD/CD の再生中に、経過した時間や残りの時間などをテレビに表示します。DVD/CD 以外の入力では表示されません。

28 トップメニュー
DVD ビデオのメニュー画面をテレビに表示します。

本体上面部

1 ディスク挿入口

2 ▲ EJECT
ディスクを取り出します。DVD/CD 入力に自動で切り換わります。

3 ⏻ STANDBY/ON
電源のオン / オフ（スタンバイ）を切り換えます。

4 FUNCTION
本機の入力を切り換えます。ボタンを押すたびに、入力が下記の順に切り換わります。
iPod→BT Audio→Air Jam→DVD/CD→USB→FM→Internet Radio→Music Server→AUX（外部入力）→（最初に戻る）

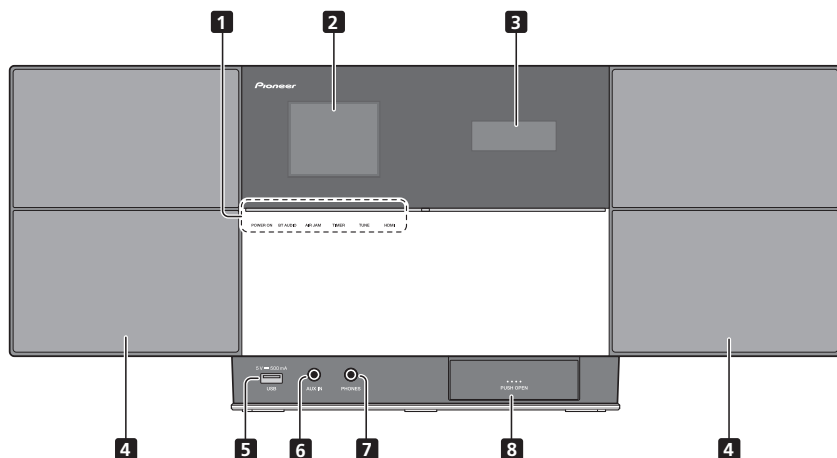
5 BT AUDIO
BT オーディオ入力に切り換えます。

6 AIR JAM
Air Jam 入力に切り換えます。

7 ►/II
再生を開始 / 一時停止します。

8 ■
再生を停止します。

9 VOLUME – /+
スピーカー音量を調節します。
（お買い上げ時：10）

本体前面部

1 POWER ON
電源がオンのときに、インジケーターが点灯します。

BT AUDIO
BT オーディオ入力を選んでいるときに、インジケーターが点灯します。

AIR JAM
Air Jam 入力を選んでいるときに、インジケーターが点灯します。

TIMER
目覚ましタイマーが設定されているときに、インジケーターが点灯します。

TUNE
FM ラジオ放送を受信しているときに、インジケーターが点灯します。

HDMI
HDMI OUT 端子に接続した機器を認識しているときに点灯します。

2 メインディスプレイ

3 サブディスプレイ

4 スピーカー

5 USB 端子

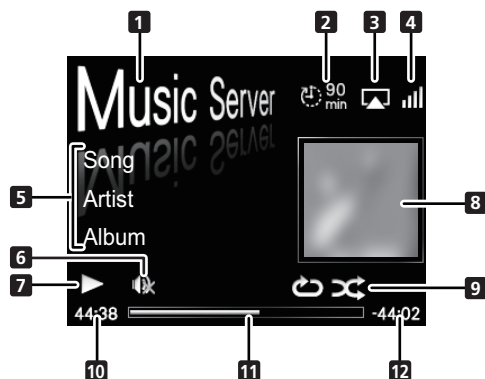
6 AUX IN 端子
外部機器を接続します。

7 PHONES 端子
ヘッドホンを接続します。

8 iPod/iPhone コネクター

注意

- 製品の仕様により、本体部やリモコン（付属の場合）のスイッチを操作することで表示部がすべて消えた状態となり、電源プラグをコンセントから抜いた状態と変わらなく見える場合がありますが、電源の供給は停止していません。製品を電源から完全に遮断するためには、電源プラグ（遮断装置）をコンセントから抜く必要があります。製品はコンセントの近くで、電源プラグ（遮断装置）に簡単に手が届くように設置してください。電源プラグを長時間差したままにすると、火災の原因となることがあります。

メインディスプレイ

1　入力名

2　スリープタイマー

スリープタイマーがセットされているときに、電源オフまでの残り時間が表示されます。

3　Air Play

Air Play の再生中は青色、停止中は白色で表示されます。

4　ネットワーク接続状態

:LAN ケーブルでネットワークに接続しているときに表示されます。

: 無線 LAN でネットワークに接続しているときに表示されます。

- 電波の強さを表すものではありません。棒の数は変わりません。

: ネットワークに接続していないときに表示されます。

5　ファイル / トラック / アーティスト / アルバム / 放送局などの名前

6　消音

消音中に表示されます。

7　再生状態

8　アートワーク

再生中のファイルにアルバムジャケットなどが記録されているときに表示されます。

9　リピート / シャッフル

: 全曲リピート再生しているときに表示されます。

:1 曲リピート再生しているときに表示されます。

: シャッフル再生しているときに表示されます。

10　再生経過時間

11　再生バー

再生経過時間に合わせてバーが伸びます。

12　再生残り時間

初期設定

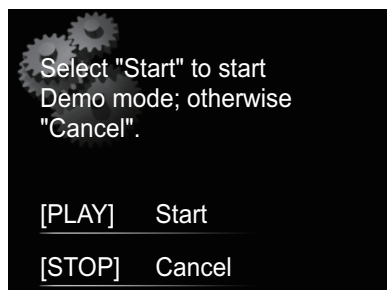
本機を初めて使うときに、下記の画面が表示されます。お好みに合わせて設定してください。

1　電源をオンにする

電源ボタンを押します。本機の電源がオンになり、20秒ほどすると下記の画面が表示されます。電源をオンにしてから実際に起動するまでに1分程度かかります。

- [高速起動モード] を [オン] に設定すると、電源をオンにしたときの起動時間を短縮できます。（33 ページ）

2　デモモードをキャンセルする

下記の画面で ■ **停止ボタン**を押します。手順 3 に進みます。

- ▶ **再生ボタン**を押すと [デモモード] が設定され、デモ画面が表示されます。次回起動したときに手順 3 の設定に進みます。
- [デモモード] を選ぶと、[高速起動モード] も [オン] に設定されます。
- [デモモード] および [高速起動モード] は、[オプション設定] で設定を変更できます。（33 ページ）手順 2 で [デモモード] を選んだときは、[オプション設定] で [デモモード] を解除しても、[高速起動モード] は同時に解除されません。個別に設定を変更してください。

3　メニュー言語を選んで決定する

⬆/⬇ **ボタン**で選んで、**決定ボタン**を押します。

- この設定はホームメニュー、画面表示、DVD の音声や字幕の言語には反映されません。それらを設定するときは、35 ページをご覧ください。

iPod/iPhone の音楽や映像を楽しむ

お手持ちの iPod/iPhone を本機に接続するだけで、本機で高音質に聴くことができます。また、本機とテレビを接続すれば、iPod/iPhone の映像を楽しめます。テレビを接続するときは、付属のビデオケーブルを使用してください。iPod/iPhone の映像は本機の HDMI OUT 端子から出力されません。
本機と接続しているときは、本機のリモコンおよび iPod/iPhone 本体で再生操作ができます。

接続できる iPod/iPhone を確認する

本機は**以下の iPod/iPhone の音声および映像**の再生に対応しています。

iPod/iPhone	音声	操作	映像
iPod nano 2G	○	○	–
iPod nano 3/4/5/6G	○	○	○ *
iPod classic	○	○	○
iPod touch 1/2/3/4G	○	○	○
iPhone	○	○	○
iPhone 3G/3GS	○	○	○
iPhone 4	○	○	○

* iPod nano 6G はスライドショーのみ再生できます。

- 本製品は、パイオニアホームページに記載されている iPod/iPhone のソフトウェアバージョンに基づいて開発、テストされたものです。
  http://pioneer.jp/audio_sys/stylish_sys/
- パイオニアホームページに記載されているバージョン以外のソフトウェアをお客様の iPod/iPhone にインストールした場合、本製品との互換が無くなる場合があります。
- 本機で対応していない iPod/iPhone を使うときは、市販のステレオミニプラグ付きケーブルで本機の AUX IN 端子に接続してください。(31 ページ)

1　トップメニューから「設定」を選ぶ
iPod touch および iPhone では、「設定」→「一般」を選びます。

2　「情報」を選ぶ
ソフトウェアのバージョンが表示されます。

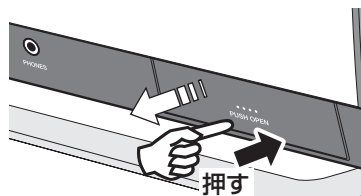
メモ

- 左記以外の iPod/iPhone の再生や操作は、保証いたしかねますのであらかじめご了承ください。
- iPod/iPhone のモデルやソフトウェアのバージョンによっては一部機能が制限されます。
- iPod/iPhone は、著作権のないマテリアル、または法的に複製・再生を許諾されたマテリアルを、個人が私的に複製・再生するために使用許諾されるものです。著作権の侵害は法律上禁止されています。
- iPod/iPhone のイコライザーなどの機能は、本機で操作できません。イコライザーなどの機能はオフにしてから本機に接続することをお勧めします。
- 本機と iPod/iPhone を組み合わせてご使用の際、万一 iPod/iPhone のデータに不具合が生じても、データの補償はいたしかねますのであらかじめご了承ください。
- iPod/iPhone の機能および操作については、iPod/iPhone の取扱説明書をご覧ください。

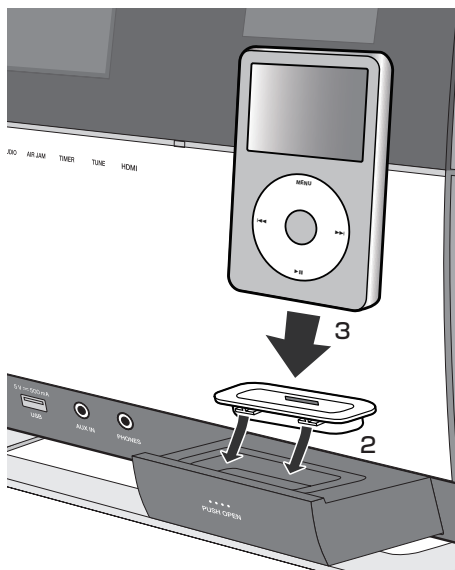
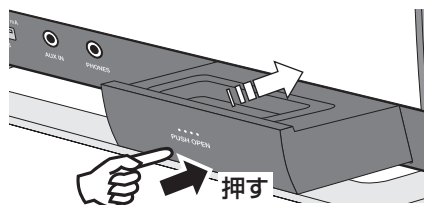
iPod/iPhone を接続する

注意

- iPod/iPhone を接続する場合は、必ずお手持ちの iPod/iPhone に付属の Dock アダプター、またはお手持ちの iPod/iPhone に対応した市販の Dock アダプターを使用してください。Dock アダプターを使用せずに iPod/iPhone を接続すると、破損や故障の原因となります。
- 本機に Dock アダプターは付属しておりません。お手持ちの iPod/iPhone に付属、または市販の Dock アダプターをご用意ください。

1　iPod/iPhone コネクターを開く
iPod/iPhone コネクターを開閉するときは、製品が動かないよう製品上部を手で支えてください。

2　iPod/iPhone コネクターに、Dock アダプターを取り付ける

Dock アダプターは前後の向きに注意して、先に手前のツメを iPod/iPhone コネクターのくぼみにはめて装着します。装着するときに、端子に当たらないようにしてください。

3　お手持ちの iPod/iPhone を差し込む

- iPod/iPhone を本機に接続していないときは、iPod/iPhone コネクターを閉じてください。

テレビを接続する

 注意

- テレビの接続を行う場合は、必ず電源をオフ（スタンバイ）にして、電源コードをコンセントから抜いてください。 電源コードは最後に接続してください。

iPod/iPhone の映像をテレビで楽しむ場合は、本機の VIDEO OUT 端子とテレビの映像入力を接続します。接続には付属のビデオケーブルを使用します。詳しくは XX ページをご覧ください。

iPod/iPhone を操作する

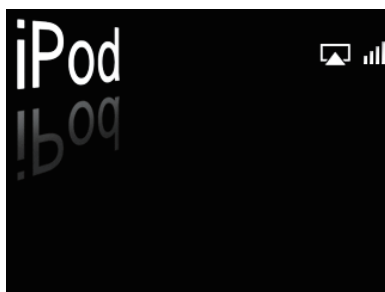
注意

- 本機に取り付けた iPod/iPhone を直接触って操作する場合は、iPod/iPhone 本体を手で保持しながら操作してください。

1　iPod/iPhone を本機に接続する

詳しくは 17 ページをご覧ください。

2　iPod/iPhone 入力に切り換える

FUNCTION ▲/▼ ボタンを押します。本体前面部のメインディスプレイに **iPod** が表示されます。

本機のリモコンで、下記の操作ができます。

ボタン	動作
▶ 再生	再生を開始します。
II 一時停止	再生を一時停止します。
■ 停止	再生を一時停止します。
I◀◀ 前	ファイルを頭出しします。2 回押すと、1 つ前のファイルを頭出しします。
▶▶I 次	次のファイルを頭出しします。
◀◀	押している間、早戻しします。
▶▶	押している間、早送りします。
シャッフル	iPod/iPhone のファイルを順不同に再生します。[1]
リピート	iPod/iPhone のファイルを繰り返し再生します。[1, 2]
メニュー	iPod/iPhone メニューを表示します。
⬆/⬇/ 決定	iPod/iPhone メニューを操作します。

[1] メインディスプレイにアイコンは表示されません。
[2] 押すたびに 1 曲リピート、全曲リピート、リピートオフが切り換わります。

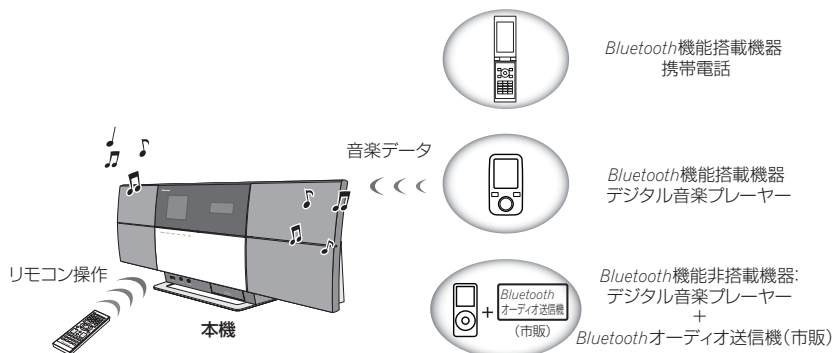
[自動モード切替] を [省電力モード] に設定しているときは、iPod/iPhone コネクターに何も接続しない状態で、iPod/iPhone 入力のまま 30 分以上操作しないと、電源が自動でオフになります。

重要

- iPod/iPhone が再生できないときは、下記の項目を確認してください。
  - — 本機で対応している iPod/iPhone か確認してください。
  - — iPod/iPhone を接続し直してください。それでも動作しないときは、iPod/iPhone をリセットしてください。
  - — iPod/iPhone のソフトウェアのバージョンが、本機で対応しているか確認してください。
- iPod/iPhone が操作できないときは、下記の項目を確認してください。
  - — iPod/iPhone が正しく接続しているか確認してください。
  - — iPod/iPhone 本体が操作できるか確認してください。操作できないときは、iPod/iPhone をリセットして接続し直してください。

メモ

- 本機の電源のオン / オフにかかわらず、本機に接続されている iPod/iPhone は充電されます。
- 本機の入力を iPod/iPhone 以外に切り換えると、iPod/iPhone の再生が自動で一時停止になります。

Bluetooth 機能搭載機器の音楽を楽しむ

ワイヤレスで音楽を楽しむ

本機は *Bluetooth*® アダプター（AS-BT200）を内蔵しています。*Bluetooth* 機能搭載機器（携帯電話、デジタル音楽プレーヤーなど）の音楽をワイヤレスで楽しめます。市販の *Bluetooth* オーディオ送信機を使って、*Bluetooth* 機能非搭載機器の音楽を楽しむこともできます。詳しくは、*Bluetooth* 機能搭載機器の取扱説明書をご覧ください。

本機は SCMS-T コンテンツ保護方式に対応しています。SCMS-T コンテンツ保護方式に対応した *Bluetooth* 機能搭載機器の音楽を再生できます。

メモ

- 本機で *Bluetooth* 機能搭載機器の音楽を再生するには、*Bluetooth* 機能搭載機器がプロファイル：A2DP に対応している必要があります。
- すべての *Bluetooth* 機能搭載機器との接続動作を保証するものではありません。
- *Bluetooth*® ワードマークおよびロゴは、Bluetooth SIG, Inc. が所有する登録商標であり、パイオニア株式会社は、これら商標を使用する許可を受けています。他のトレードマークおよび商号は、各所有権者が所有する財産です。

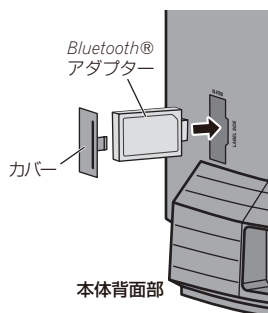
リモコンでの操作

本機に付属のリモコンで、*Bluetooth* 機能搭載機器を操作できます。

メモ

- 本機のリモコンで操作するには、*Bluetooth* 機能搭載機器がプロファイル：AVRCP に対応している必要があります。
- すべての *Bluetooth* 機能搭載機器に対するリモコン操作を保証するものではありません。

Bluetooth® アダプターについて

下記の図の位置に内蔵されています。取り外さないでください。

本機の PIN コードを設定する

本機の PIN コードを *Bluetooth* 機能搭載機器と同じ PIN コードに設定します。本機で設定可能な PIN コードは、0000/1234/8888 のいずれかです。

- 工場出荷時の設定：0000

1 BT オーディオ入力に切り換える

FUNCTION ▲/▼ ボタンまたは本体上面部の **BT AUDIO ボタン**を押します。本体前面部の BT AUDIO インジケーターが点灯し、メインディスプレイに BT Audio が表示されます。

2 オプション設定画面を表示する

設定ボタンを押します。

3 [オプション設定] → [BT PIN 切替] を選んで決定する

⬆/⬇ ボタンで選んで、**決定ボタン**を押します。

4 PIN コードを選んで決定する

⬆/⬇ ボタンで選んで、**決定ボタン**を押します。

5 設定を終了する

設定ボタンを押します。

本機と *Bluetooth* 機能搭載機器をペアリングする（初期登録）

Bluetooth アダプターで *Bluetooth* 機能搭載機器の音楽を楽しむために、ペアリングを行う必要があります。最初に *Bluetooth* 機能搭載機器を使用するとき、または *Bluetooth* 機能搭載機器側のペアリングデータを消去したときは、ペアリングを行ってください。

ペアリングは *Bluetooth* 無線技術を利用した通信を可能にするために必要な手順です。詳しくは、*Bluetooth* 機能搭載機器の取扱説明書をご覧ください。

1 BT オーディオ入力に切り換える

FUNCTION ▲/▼ **ボタン**または本体上面部の BT AUDIO **ボタン**を押します。本体前面部の BT AUDIO インジケーターが点灯し、メインディスプレイに BT Audio が表示されます。

2 ペアリングしたい *Bluetooth* 機能搭載機器の電源をオンにして本機の 1 m 以内に置いて、ペアリング操作を行う

ペアリングが開始されます。

- *Bluetooth* 機能搭載機器のペアリング可能な状態や接続操作などについては、*Bluetooth* 機能搭載機器の取扱説明書をご覧ください。

3 *Bluetooth* 機能搭載機器がペアリングされたことを確認する

- 本機と *Bluetooth* 機能搭載機器が接続されないときは、*Bluetooth* 機能搭載機器側で接続操作をしてください。

メモ

- ペアリングは、*Bluetooth* 機能搭載機器を使用する際に、はじめに 1 回だけ行います。
- *Bluetooth* を利用した通信を行うために、ペアリングは本機と *Bluetooth* 機能搭載機器の両方で行う必要があります。
- ペアリングで表示される本機の名称は [AS-BT200] です。

Bluetooth 機能搭載機器の音楽を本機で聴く

1 BT オーディオ入力に切り換える

FUNCTION ▲/▼ **ボタン**または本体上面部の BT AUDIO **ボタン**を押します。本体前面部の BT AUDIO インジケーターが点灯し、メインディスプレイに BT Audio が表示されます。

2 *Bluetooth* 機能搭載機器と本機を接続する

- 接続操作については、「本機と *Bluetooth* 機能搭載機器をペアリングする（初期登録）」（上記）をご覧ください。

3 *Bluetooth* 機能搭載機器の音楽を再生する

本機のリモコンで、下記の操作ができます。

ボタン	動作
▶ 再生	再生を開始します。
❚❚ 一時停止	再生を一時停止します。
■ 停止	再生を停止します。
⏮ 前	ファイルを頭出しします。2 回押すと、1 つ前のファイルを頭出しします。
⏭ 次	次のファイルを頭出しします。
◀◀	押している間、早戻しします。*
▶▶	押している間、早送りします。*

* *Bluetooth* 機能搭載機器によっては異なる動作をすることがあります。

[自動モード切替] を [省電力モード] に設定しているときは、*Bluetooth* 機能搭載機器を接続しない状態で、BT オーディオ入力のまま 30 分以上操作しないと、電源が自動でオフになります。

メモ

- 本機のリモコンで操作するには、*Bluetooth* 機能搭載機器がプロファイル：AVRCP に対応している必要があります。
- すべての *Bluetooth* 機能搭載機器に対するリモコン操作を保証するものではありません。

Air Jam

Air Jam はパイオニアが開発した無料アプリケーションです。
Air Jam は異なる機器内にある音楽をひとつのプレイリストとして登録し、*Bluetooth* 機能を使って本機で再生できるアプリです。友人同士でそれぞれお持ちの対応機器にある音楽の中から、お好みの曲を Air Jam のプレイリストに登録できます。

1　Air Jam 入力に切り換える
FUNCTION ▲/▼ ボタンまたは本体上面部の **AIR JAM ボタン**を押します。本体前面部の **AIR JAM** インジケーターが点灯し、メインディスプレイに **Air Jam** が表示されます。

Air Jam について詳しくは、下記のホームページをご覧ください。

iOS 版
http://pioneer.jp/product/soft/iapp_airjam/jp.html
Android 版
http://pioneer.jp/product/soft/andr_airjam/jp.html

電波に関するご注意

本機は、2.4 GHz の周波数帯の電波を利用しています。この周波数の電波は、下記①に示すようにいろいろな機器が使用しています。また、お客様に存在がわかりにくい機器として下記②に示すような機器もあります。

① 2.4 GHz を使用する主な機器の例

- コードレスフォン
- コードレスファクシミリ
- 電子レンジ
- 無線 LAN 機器（IEEE802.11b/g）
- ワイヤレス AV 機器
- ゲーム機のワイヤレスコントローラー
- マイクロ波治療機器類

② 存在がわかりにくい 2.4 GHz を使用する主な機器の例

- 万引き防止システム
- アマチュア無線局
- 工場や倉庫などの物流管理システム
- 鉄道車両や緊急車両の識別システム

これらの機器と本機を同時に使用すると、電波の干渉により、音がとぎれて雑音のように聞こえたり、音が出なくなることがあります。

受信状況の改善方法としては以下の方法があります。

- 電波を発生している相手機器の電源を切る
- 干渉している機器の距離を離して設置する

次の場所では本機を使用しないでください。ノイズが出たり、送信 / 受信ができなくなる場合があります。

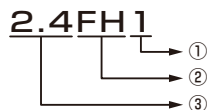
- 2.4 GHz を利用する無線 LAN（IEEE802.11b/g）、また電子レンジなどの機器の磁場、静電気、電波障害が発生するところ。（環境により電波が届かない場合があります）
- ラジオから離してお使いください。（ノイズが出る場合があります）
- テレビにノイズが出た場合、*Bluetooth* 機能搭載機器や本機（および本機対応製品）がテレビ、ビデオ、BS チューナー、CS チューナーなどのアンテナ入力端子に影響を及ぼしている可能性があります。*Bluetooth* 機能搭載機器や本機（および本機対応製品）をアンテナ入力端子から遠ざけて設置してください。

電波法に基づく認証について

本機内蔵の *Bluetooth®* アダプターは電波法に基づく小電力データ通信の無線設備として認証を受けています。
したがって、本製品を使用するときに無線局の免許は必要ありません。また、本製品は、日本国内のみで使用できます。ただし、以下の行為をすると法律により罰せられることがあります。

- 本機内蔵の *Bluetooth®* アダプターを分解／改造すること。
- 本機内蔵の *Bluetooth®* アダプターに貼られている証明ラベルをはがすこと。

周波数について

周波数表示の見かた
（本機に内蔵している *Bluetooth®* アダプターの背面のラベルに記載）

①「1」想定される与干渉距離（約 10 m）を表します
②「FH」変調方式を表します
③「2.4」GHz 帯を使用する無線設備を表します

使用範囲について

ご家庭内での使用に限ります（通信の環境により伝送距離が短くなることがあります）。

次のような場合、電波状態が悪くなったり電波が届かなくなることが原因で、音声がとぎれたり停止したりします。

- 鉄筋コンクリートや金属の使われている壁や床を通して使用する場合。
- 大型の金属製家具の近くなど。
- 人混みの中や、建物障害物の近くなど。
- 2.4 GHz を利用する無線 LAN（IEEE802.11b/g）、また電子レンジなどの機器の磁場、静電気、電波障害が発生するところ。
- 集合住宅（アパート・マンションなど）にお住まいで、お隣で使用している電子レンジ設置場所が本機に近い場合。なお、電子レンジは、使用していなければ電波干渉は起こりません。

電波の反射について

本機が通信する電波には、直接届く電波（直接波）と、壁や家具、建物などに反射してさまざまな方向から届く電波（反射波）があります。これにより、障害物と反射物とのさまざまな反射波が発生し、電波状態の良い位置と悪い位置が生じ、音声がうまく受信できなくなることがあります。

このようなときは、*Bluetooth* 機能搭載機器の場所を少し動かしてみてください。*Bluetooth* 機能搭載機器と本機の間を人間が横切ったり、近づいたりすることによっても、反射波の影響で音声がとぎれたりすることがあります。

⚠ 注意

- 本機の使用によって発生した損害については、法令上賠償責任が認められる場合を除き、当社は一切の責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。
- 本機は、すべての *Bluetooth* 機能搭載機器との接続動作を保証するものではありません。

安全にお使いいただくために

- 高精度な制御や微弱な信号を取り扱う電子機器の近くでは使用しない。電子機器に誤動作するなどの影響を与え、事故の原因となる恐れがあります。
- 航空機器や病院など、使用を禁止された場所では使用しないでください。電子機器や医療用電気機器に影響を与え、事故の原因となる恐れがあります。医療機関の指示に従ってください。

ご注意いただきたい電子機器の例

補聴器、ペースメーカー、その他医療用電気機器、火災報知器、自動ドア、その他自動制御機器など。

ペースメーカー、その他医療用電気機器をご使用される方は、該当の各医療用電気機器メーカーまたは販売業者に電波による影響についてご確認ください。

この機器の使用周波数帯では、電子レンジなどの産業・科学・医療用機器のほか、工場の製造ラインなどで使用されている移動体識別用の構内無線局（免許を要する無線局）および特定小電力無線局（免許を要さない無線局）並びにアマチュア無線局（免許を要する無線局）が運用されています。

1. この機器を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局および特定小電力無線局並びにアマチュア無線局が運用されていないことを確認してください。
2. 万一、この機器から移動体識別用の構内無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合には、すみやかに電波の発射を停止したうえ、ご相談窓口（裏表紙）にご連絡いただき、混信回避のための処置など（たとえば、パーティションの設置など）についてご相談してください。
3. その他、この機器から移動体識別用の特定小電力無線局あるいはアマチュア無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合など、何かお困りのことが起きたときは、ご相談窓口（裏表紙）へお問い合わせください。

ディスクの音楽や映像を楽しむ

ディスクを再生する

1　電源をオンにする

電源ボタンを押します。本体前面部のメインディスプレイに選択されている入力が表示されます。

- DVD ビデオまたは DivX ディスクを再生するときは、再生する前にテレビの電源を入れて、テレビの入力を切り換えてください。
- 本機から、テレビ画面に表示している言語を変更できます。（「画面表示言語」（35 ページ））

2　DVD/CD 入力に切り換える

FUNCTION ▲/▼ ボタンを押します。メインディスプレイに **DVD/CD** が表示されます。
すでにディスクが入っているときは、**⏏EJECT ボタン**を押して、ディスクを取り出してください。

3　ディスクを挿入する

図のようにディスクを持ち、ディスク挿入口の中央にディスクを入れ、上からそっと押してください。自動でディスクが引き込まれ、再生が開始されます。

- **数字ボタン**（0 から 9）で番号を入力して、再生したいタイトルやチャプターや、ラック、ファイルなどを選べます。

重要

- ディスクが入らない場合は、無理に押し込まずにいったんディスクを抜いて入れ直してください。無理にディスクを押し込むとディスクに傷がついたり、故障の原因になります。
- ディスクの記録面に触れないでください。記録面が汚れている場合、正常に再生できないことがあります。
- 8 cm ディスクは再生できません。また、故障の原因になるため 8 cm CD アダプターは使用しないでください。

[自動モード切替] を [省電力モード] に設定しているときは、30 分以上操作しないと、電源が自動でオフになります。

希望の順番で曲を再生する（プログラム再生）

DVD-Video　Video CD　CD(R/RW)　DivX®　WMA　MP3

1　テレビ画面にホームメニューを表示する

ホームメニューボタンを押します。

2　[プレイモード] を選んで決定する

⬆/⬇/⬅/➡ ボタンで選んで、**決定ボタン**を押します。

3　[プログラム] を選んで決定する

⬆/⬇ ボタンで選んで、**決定ボタン**または **➡ ボタン**を押します。プレイモード画面が表示されます。

4　[プログラム編集] を選んで決定する

⬆/⬇ ボタンで選んで、**決定ボタン**を押します。
プログラム編集画面はディスクやファイルによって異なります。

5　タイトル、チャプター、トラック、またはファイルを選んで決定する

⬆/⬇/⬅/➡ ボタンで選んで、**決定ボタン**を押します。

- プログラムを追加するには、追加するプログラムを選んで、次に追加するタイトルまたは、チャプター、トラックを選んで**決定ボタン**を押します（プログラムの最後にファイルが追加されます）。
- 1 つ前の画面に戻るには、**戻るボタン**を押します。1 つ前の画面に戻ると、プログラムは消去されます。
- プログラムを削除するには、選択中に**クリアボタン**を押します。

6　再生する

▶ 再生ボタンを押します。再生が始まります。

- 設定が完了しているプログラムを再生するには、プログラム画面から [再生開始] を選んで**決定ボタン**を押します。
- 再生を元の位置から再開するには、プログラム画面から [再生停止] を選んで**決定ボタン**を押します。プログラムは保存されています。
- すべてのプログラムを削除するには、プログラム画面から [再生削除] を選んで**決定ボタン**を押します。
- プレイモード画面の [リピート] から [プログラムリピート] を選ぶと、プログラムを繰り返し再生できます。
- プログラムはランダム再生できません。（ランダム再生中はプログラム再生できません。）

USB メモリーの音楽を楽しむ

USB メモリーのファイルを再生する

- 本機が USB メモリーを認識しない、ファイルが再生できない、電源が供給されないなどの症状が起こることがあります。詳しくは 48 ページをご覧ください。
- USB メモリーに保存されたすべてのファイルを再生できなかったり、USB メモリーに電源が供給されないことがあります。また、本機と USB メモリーを組み合わせてご使用の際、万一 USB メモリーのデータに不具合が生じてもデータの補償はいたしかねますのであらかじめご了承ください。

1　USB 入力に切り換える

FUNCTION ▲/▼ ボタンを押します。メインディスプレイに **USB** が表示されます。

2　USB メモリーを接続する

USB メモリーにあるフォルダー / ファイルがメインディスプレイに自動で表示されます。

3　ファイルを選んで決定する

⬆/⬇ ボタンで選んで、**決定ボタン**を押します。再生が始まります。

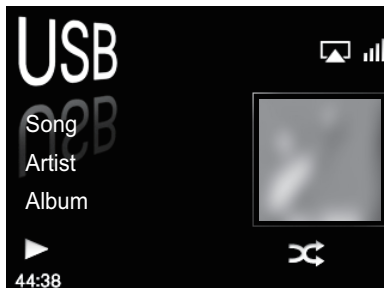
- 1 つ前の画面に戻るには、**戻るボタン**を押します。
- 他の入力に切り換えるときは、USB メモリーの再生を停止してから切り換えてください。
- USB メモリーは、本機の電源をオフ（スタンバイ）にしてから取り外してください。

本機のリモコンで、下記の操作ができます。再生の状態によっては、下記の操作が働かないことがあります。

ボタン	動作
► 再生	一時停止を解除して、再生を開始します。ファイル選択画面で押すと、現在再生中の画面が表示されます。
II 一時停止	再生を一時停止します。
■ 停止	再生を停止します。
I◄◄ 前	1 つ前のファイルを頭出しします。
►►I 次	次のファイルを頭出しします。
シャッフル	USB メモリーのファイルを順不同に再生します。
リピート	USB メモリーのファイルを繰り返し再生します。*

* 押すたびに 1 曲リピート（ ）、全曲リピート（ ）、リピートオフが切り換わります。

[自動モード切替] を [省電力モード] に設定しているときは、USB メモリーを再生しない状態で、USB 入力のまま 30 分以上操作しないと、電源が自動でオフになります。

再生中はメインディスプレイに下記の画面が表示されます。ファイルによっては、表示されない情報もあります。

インターネットラジオを楽しむ

インターネットラジオを聞く

ネットワークに接続する

詳しくは 9 ページをご覧ください。

初めてインターネットラジオを聞く

初めてインターネットラジオを聞くときに、お好みの放送局を設定します。

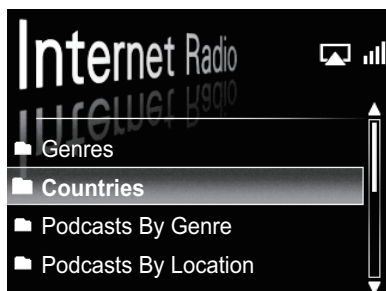
1　インターネットラジオ入力に切り換える

FUNCTION ▲/▼ ボタンを押します。メインディスプレイに Internet Radio が表示されます。

2　[ラジオ局を探す] を選んで決定する

⬆/⬇ ボタンで選んで、**決定ボタン**を押します。

3　放送局を選んで決定する

⬆/⬇ ボタンで選んで、**決定ボタン**を押します。

放送局を選局する

1　インターネットラジオ入力に切り換える

FUNCTION ▲/▼ ボタンを押します。

- メインディスプレイに前回選局した放送局の情報が表示されます。

2　メニュー画面を表示する

メニューボタンを押します。

3　[ラジオ局を探す] または [Favorites] を選んで決定する

⬆/⬇ ボタンで選んで、**決定ボタン**を押します。

- [Favorites] に登録されていない放送局を探すときは、[ラジオ局を探す] を選びます。
- 既に登録した放送局を選ぶときは、[Favorites] を選びます。
- [Favorites] の登録方法は、下記をご覧ください。

4　放送局を選んで決定する

⬆/⬇ ボタンで選んで、**決定ボタン**を押します。

- [ラジオ局を探す] を選んだときは、インターネットラジオメニューから選局します。

お好みの放送局を登録する（Favorites）

1　[ラジオ局を探す] で選局する

- 詳しくは「放送局を選局する」（上記）をご覧ください。
- メインディスプレイに放送局の情報が表示されます。

2　放送局を登録する

決定ボタンを数秒間押し続けます。[Favorites] に放送局が登録されます。

- [Favorites] には最大 20 局まで登録できます。

登録した放送局をリストから消去する

1　メニュー画面を表示する
メニューボタンを押します。

2　[Favorites] を選んで決定する
⬆/⬇ **ボタン**で選んで、**決定ボタン**を押します。

3　消去したい放送局を選んで決定する
⬆/⬇ **ボタン**で選んで、**決定ボタン**を押します。

4　[消去] を選んで決定する
⬆/⬇ **ボタン**で選んで、**決定ボタン**を押します。
確認画面で**決定ボタン**を押します。

- 消去を取り消したいときは、確認画面で**戻るボタン**を押します。

インターネットラジオの詳細設定

パイオニア専用サイトから vTuner のリストにない放送局を登録する

本機では vTuner から配信される放送局リストにない放送局を登録し、再生できます。本機で登録に必要なアクセスコードを確認し、そのアクセスコードを使ってパイオニア専用のインターネットラジオサイトにアクセスして、お気に入りの放送局の登録などをします。
パイオニア専用のインターネットラジオサイトは下記のアドレスです。
http://www.radio-pioneer.com

1　メニュー画面を表示する
「初めてインターネットラジオを聞く」（26 ページ）の手順 1 ～ 3 の操作をします。

2　[Help] を選んで決定する
⬆/⬇ **ボタン**で選んで、**決定ボタン**を押します。

3　[Get access code] を選んで決定する
⬆/⬇ **ボタン**で選んで、**決定ボタン**を押します。
アクセスコードが表示されます。メモしてください。

4　お手持ちのパソコンでパイオニア専用のインターネットラジオサイトへアクセスし、登録操作を行う
上記サイトへアクセスし、手順 3 のアクセスコードを使い、画面に従ってユーザー登録をします。

5　パソコンの画面に従って、お気に入りの放送局を登録する
vTuner のリストにある放送局はもちろん、vTuner の放送局リストにない放送局も登録できます。

6　登録された放送局を確認する
「放送局を選局する」(26 ページ) 手順 3 の [Favorites] で確認できます。

メモ

- 「Help」画面では以下の点を確認できます。
  — Get access code
  パイオニア専用インターネットラジオサイトの登録に必要なアクセスコードが表示されます。
  — Show Your WebID/PW
  パイオニア専用インターネットラジオサイトで登録したあと、登録された ID とパスワードが表示されます。
  — Reset Your WebID/PW
  パイオニア専用インターネットラジオサイトで登録した内容をすべてリセットします。リセットすると登録した放送局もすべて消えてしまいますので、同じ放送局を聞きたいときはリセット後、登録をし直してください。

ミュージックサーバーで音楽を楽しむ

はじめに

パソコンなどに保存されているたくさんの音楽ファイルを本機で再生できます。お手持ちのネットワーク機器の取扱説明書とあわせてご確認ください。

- 画像 / 動画ファイルは再生できません。
- Windows Media Player 11 または Windows Media Player 12 をお使いの場合、本機では著作権保護のかかっている音楽ファイルも再生できます。

DLNA に準拠した機器の再生について

本機は下記の機器に保存されているネットワーク上の音楽ファイルを再生できます。

- OS が Microsoft Windows Vista または XP Service Pack 3 で、Windows Media Player 11 がインストールされているパソコン
- OS が Microsoft Windows 7 で、Windows Media Player 12 がインストールされているパソコン
- DLNA1.0 または DLNA1.5 に準拠したメディアサーバー（パソコンやネットワーク型ハードディスクなど）

上記のパソコンまたは、DLNA 認証を受けたサーバー (DMS:Digital Media Server) に保存されているファイルは、DLNA 認証を受けた DMC（Digital Media Controller）と呼ばれる外部コントローラーからの指示で再生できます。この DMC からコントロールされ、ファイルを再生する機器を DMR（Digital Media Renderer) と呼びます。本機はこの DMR に対応しています。

本機を DMR として選んで DMS の再生を開始すると、本機の入力が自動で DMR に切り換わります。DMR 入力では、現在再生中のトラック名、アーティスト名、アルバム名、アルバムアートワークが、本機のメインディスプレイに表示されます。（再生しているファイルによっては、表示されないこともあります。）

DMR 動作中は、外部コントローラーからの操作によりファイルの再生、停止などが可能となります。また、音量調節や消音（ミュート）操作ができます。

DMR 再生中に、**FUNCTION ▲/▼ ボタン**を押すと、DMR 再生を終了して DMR 再生開始前の入力に戻ります。

- 使用する外部コントローラーによっては、音量調節を行うと再生が中断することがあります。この場合は本体またはリモコンで音量調節を行ってください。

iPod touch、iPhone、iPad、iTunes で AirPlay を使うには

本機は、iPod touch (第 2、第 3、第 4 世代)/iPhone 4/iPhone 3GS/iPad の iOS 4.2 以降、iTunes 10.1 以降 (Mac またはパソコン) からの AirPlay の音声ストリーミングに対応しています。

AirPlay を楽しむには、iPod touch、iPhone、iPad、iTunes で本機を選びます。*[1]

AirPlay が開始されると、本機の入力が AirPlay に自動で切り換わります。

AirPlay 動作中は、以下の操作や表示ができます。

- iPod touch、iPhone、iPad や iTunes からの本機の音量調節
- 本機のリモコン操作での一時停止 / 再開、スキップ、シャッフル / リピート *[2]
- アーティスト名、曲名、アルバム名を含む再生中の情報を表示 *[3]
- AirPlay 再生中に **FUNCTION ▲/▼ ボタン**を押すと、AirPlay 再生を終了して AirPlay 再生開始前の入力に戻ります。

*[1] iPod touch、iPhone、iPad や iTunes の操作は、Apple 社のホームページを参照してください。
http://www.apple.com

*[2] メインディスプレイに再生状態、リピート / シャッフルのアイコンは表示されません。

*[3] 曲名以外は表示されないことがあります。

メモ

- AirPlay を使うにはネットワーク環境が必要です。
- 本機の名前が iPod touch、iPhone、iPad、iTunes 上に再生機器として表示されます。また、[ネットワーク設定] の [フレンドリーネーム] で本機の名前を変更できます。
- 本機に搭載されている AirPlay 機能は、パイオニアホームページに記載されている iPod、iPhone、iPad のソフトウェアバージョンおよび、iTunes のソフトウェアバージョンに基づいて開発、テストされたものです。パイオニアホームページに記載されているバージョン以外の iPod、iPhone、iPad のソフトウェアまたは iTunes を使用した場合、AirPlay 機能の互換性がなくなる場合があります。

DHCP サーバー機能について

ネットワーク上の機器に保存されている音楽ファイルやインターネットラジオを再生するには、ルーターの DHCP サーバー機能が ON になっている必要があります。
DHCP サーバー機能がないルーターの場合はネットワークの設定を行わなければネットワーク上の音楽ファイルやインターネットラジオの再生ができません。詳しくは 37 ページの「ネットワークの設定をする」をご確認ください。

接続しているサーバーに本機を認証させる

ミュージックサーバーを使ってサーバーに保存されているファイルを再生するには、あらかじめサーバーが本機を認証（許可）している必要があります。認証（許可）方法は接続しているサーバーによって異なります。詳しくはサーバーの取扱説明書をご覧ください。

パソコンや他機器の音楽ファイルを再生する

ネットワークに接続する

詳しくは 9 ページをご覧ください。

ミュージックサーバーから再生する

重要

- Windows のネットワーク環境で、ドメインが構成されている場合、ドメインにログオンしているとパソコンに接続できません。ドメインではなくローカルマシンにログオンしてください。
- 再生経過時間が正しく表示されないことがあります。

1　ミュージックサーバー入力に切り換える

FUNCTION ▲/▼ ボタンを押します。メインディスプレイに使用可能なサーバーが表示されます。

- 使用可能なサーバーがないときは、メインディスプレイに [Empty] が表示されます。

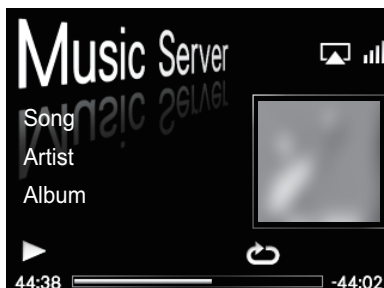
2　再生したいファイルのあるサーバーを選んで決定する

⬆/⬇ ボタンで選んで、**決定ボタン**を押します。メインディスプレイに、サーバーに保存されているフォルダー / ファイルが表示されます。

- 再生したいファイルがフォルダー内にあるときは、フォルダーを選びます。

3　再生したいファイルを選んで決定する

⬆/⬇ ボタンで選んで、**決定ボタン**を押します。再生が始まります。

- 再生中に**戻るボタン**を押すと、1 つ前のフォルダー / ファイル選択画面に戻ります。

本機のリモコンで、下記の操作ができます。再生の状態によっては、下記の操作が働かないことがあります。

ボタン	動作
▶ 再生	一時停止を解除して、再生を開始します。ファイル選択画面で押すと、現在再生中の画面が表示されます。
⏸ 一時停止	再生を一時停止します。
■ 停止	再生を停止します。
⏮ 前	1 つ前のファイルを頭出しします。
⏭ 次	次のファイルを頭出しします。
シャッフル	サーバーのファイルを順不同に再生します。
リピート	サーバーのファイルを繰り返し再生します。*

* 押すたびに 1 曲リピート（🔁1）、全曲リピート（🔁）、リピートオフが切り換わります。

FM ラジオを聴く

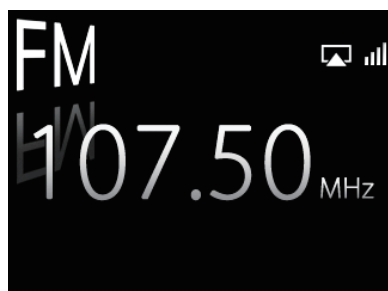
FM アンテナを接続する

FM アンテナソケットに、FM 簡易アンテナのプラグをつないでください。(9 ページ)

放送局を受信する

本機はお気に入りの放送局を記録できます。FM ラジオを聴くたびに手動で周波数を調整する必要はありません。

1　FM ラジオ入力に切り換える

FUNCTION ▲/▼ ボタンを押します。メインディスプレイに現在の周波数が表示されます。

2　聞きたい放送局に周波数を合わせる

FM 放送を受信しているときは、**TUNE インジケーター**が点灯します。
選局には 2 つの方法があります。
自動で選局する ― **TUNE ＋ / －ボタン**を 3 秒間押し続けて、指を放します。周波数が自動で変化して、放送局を受信すると止まります。
この操作を繰り返して、他の放送局を探します。
手動で選局する ― **TUNE ＋ / －ボタン**を 1 回ずつ押します。周波数が 1 ステップずつ変化します。

放送局を記憶させる

本機に放送局を 9 個まで記憶させることができ、毎回手動で選局することなく、簡単にお気に入りの放送局を呼び出すことができます。

手動で受信して放送局を記憶させる

1　FM ラジオ入力に切り換える

FUNCTION ▲/▼ ボタンを押します。メインディスプレイに現在の周波数が表示されます。

2　聞きたい放送局に周波数を合わせる

3　放送局を記憶させる

記憶させたい**数字ボタン（1 ～ 9）**を選んで、3 秒間押し続けます。選んだ数字ボタンに周波数がプリセットされます。前に保存されていた周波数は上書き保存されます。

自動で受信して放送局を記憶させる

1　放送局を記憶させる

PRESET ＋ボタンを 3 秒間押し続けます。受信した放送局の周波数が、数字の若いボタンから順番にプリセットされます。
FM 放送の周波数を一巡するか、9 個の放送局をプリセットすると、自動で終了します。

記憶させた放送局を呼び出す

1　FM ラジオ入力に切り換える

FUNCTION ▲/▼ ボタンを押します。メインディスプレイに現在の周波数が表示されます。

2　放送局を選ぶ

放送局が記憶されている**数字ボタン（1 ～ 9）**を押します。

- 数字ボタンの順番に呼び出すには、**PRESET ＋ / －ボタン**を押します。

他機器の音楽を聴く

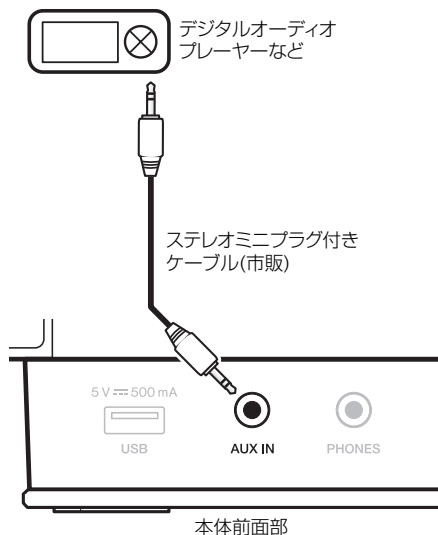
⚠ 注意

- 他機器の接続を行う場合には、必ず電源をスタンバイにして、電源コードをコンセントから抜いてください。電源コードは最後に接続してください。

メモ

- 外部機器のヘッドホン端子と接続しているときは、外部機器の音量調節によって本機のスピーカーから聞こえる音量が変わります。本機のボリュームを下げても音が歪む場合は、外部機器の音量を調節してください。

他機器を接続する

本体前面部の AUX IN 端子と接続機器のアナログ出力端子（またはヘッドホン出力端子）を、市販のステレオミニプラグ付きケーブルで接続します。

メモ

- 本機の iPod/iPhone コネクターの接続（17 ページ）に対応していない iPod/iPhone をお持ちの場合は、上記の方法で iPod/iPhone を接続して音楽を楽しむことができます。

他機器の音楽を本機で聴く

1　AUX 入力に切り換える

FUNCTION ▲/▼ ボタンを押します。メインディスプレイに **AUX** が表示されます。

2　他機器の再生を始める

[自動モード切替] を [省電力モード] に設定しているときは、**AUX IN** 端子に何も接続しない状態で、AUX 入力のまま 30 分以上操作しないと、電源が自動でオフになります。

各種設定

太字はお買い上げ時の設定です。

本体設定

1　本体設定画面を表示する
設定ボタンを押します。

2　項目を選んで決定する
⬆/⬇ ボタンで選んで、**決定ボタン**を押します。

3　設定を変更する
メインディスプレイの表示に従って操作してください。

設定		説明
タイマー設定		目覚ましタイマーを設定します。(36 ページ)
時計設定	時計表示 (**オン** / スタンバイ時オン / オフ)	• [オン] を選ぶと本体前面部のサブディスプレイに時計を表示します。 • [スタンバイ時オン] を選ぶと本機の電源がオフ(スタンバイ)のときも、サブディスプレイに時計を表示します。
	時刻フォーマット (12 時間表示 /**24 時間表示**)	時計の表示方法を選びます。
	時刻調節 (**自動** / 手動)	時刻の調節方法を選びます。(36 ページ)
	タイムゾーン 初期値:**GMT ± 0**	お住まいの地域のタイムゾーンを選びます。[時刻調節] が [自動] のときに設定できます。 例　日本国内にお住まいのときは、[GMT+9:00] を **⬆/⬇ ボタン**で選んで**決定ボタン**を押します。
	サマータイム設定 (オン / **オフ**)	[オン] を選ぶとサマータイムが有効になります。時刻が 1 時間進みます。
ディスプレイ設定 (**Level3**/Level2/Level1)		ディスプレイの明るさを選びます。
ネットワーク設定	接続方式 (有線 / 無線 / **自動**)	ネットワークの接続方式を選びます。[自動] を選ぶと、本機の電源がオンになったときに [有線] か [無線] かを自動で切り換えます。
	接続設定 (有線設定 / 無線設定)	詳しくは 37 ページをご覧ください。
	WPS (PBC(プッシュボタン) 方式 /PIN 方式)	WPS 接続方式を選びます。(39 ページ)
	フレンドリーネーム	ネットワークに接続したパソコンや他機器に表示される本機の名前を変更します。(40 ページ) お買い上げ時の設定は **X-SMC5** です。

設定		説明
オプション設定	BT PIN 切替 (**0000**/1234/8888)	*Bluetooth* PIN コードを選びます。(21 ページ)
	音量制限 (オン / **オフ**)	[オン] を選ぶと音量が 0 ～ 30 までの設定になります。この設定を変更するごとに、音量が 0 に戻ります。
	インターネットペアレンタルロック (パスワード変更 / インターネットペアレンタルロック)	インターネットラジオを聞くときのパスワードを設定します。 [インターネットペアレンタルロック] で [オン]/[オフ] を選んで、[パスワード変更] で設定します。(41 ページ)
	自動モード切替 (**省電力モード** / デモモード / オフ)	• [省電力モード] を選んだときは、30 分以上操作されないと本機の電源が自動でオフ(スタンバイ)になります。 • [デモモード] を選んだときは、5 分以上操作されないとメインディスプレイにデモ画面が表示されます。
	言語 (**English**/ その他の言語)	メインディスプレイの表示言語を切り換えます。 その他の言語:フランス語、ドイツ語、オランダ語、イタリア語、スペイン語、ロシア語、日本語
	高速起動モード (オン / **オフ**)	[オン] を選ぶと電源オンにかかる時間が短縮されます。また、AirPlay の再生動作によって自動で電源がオンになります。ただし、スタンバイ時の消費電力が、電源オン時とほぼ同じになります。
	ソフトウェアアップデート	本機のソフトウェアを更新します。
システム情報		本機の詳細情報を確認します。

DVD/CD 再生設定

1　DVD/CD 入力に切り換える

FUNCTION ▲/▼ ボタンを押します。

2　テレビ画面にホームメニューを表示する

ホームメニューボタンを押します。

3　項目を選んで決定する

⬆/⬇/⬅/➡ ボタンで選んで、**決定ボタン**を押します。

4　設定を変更する

テレビ画面の表示に従って操作してください。

• ホームメニューを閉じるときは、**ホームメニューボタン**を押します。

• 下記は DVD/CD 以外の入力には働きません。

音場設定

設定	説明
イコライザー (**オフ** / ロック / ポップス / ライブ / ダンス / テクノ / クラシック / ソフト)	聞く音楽のジャンルに合わせて選んでください。
オーディオ DRC (大 / 中 / 小 / **オフ**)	• 大すぎる音声や小さすぎる音量の音声を自然に調整して聴きやすくします。深夜に映画を見るときなどに設定を変更してください。 • この設定はドルビーデジタルの音声にのみ効果があります。 • テレビの音量によって効果が変わります。いくつかの設定を試して、最も効果のある設定にしてください。
ダイアローグ (大 / 中 / 小 / **オフ**)	セリフの音が小さかったり、聞き取りにくい場合は、設定を変更してください。この設定はマルチチャンネル音声にのみ効果があります。

画質調整

設定	説明
シャープネス （ファイン / **標準** / ソフト）	画像の鮮明度を調整します。
ブライトネス※ （− 20 〜+ 20）	画面の明るさを調整します。
コントラスト※ （− 16 〜+ 16）	最も明るい部分と最も暗い部分との明るさの比率を調整します。
ガンマ※ （− 3 〜+ 3）	画像の暗い部分の見えかたを強調します。
色あい※ （緑 9 〜赤 9）	緑色と赤色のバランスを調整します。
色の濃さ※ （− 9 〜+ 9）	色の濃さを調整します。色のりの多いアニメなどで効果があります。

※：お買い上げ時は **0** に設定されています。

初期設定

- 本機の詳細な設定はここで変更します。
- 再生中は初期設定を選択できません。ディスクを停止してから行ってください。

デジタル音声出力

設定	説明
HDMI 出力 （LPCM（2CH）/ **自 動** / オフ）	接続されている HDMI 対応機器に合わせて、本機の HDMI 出力端子から出力する信号の種類を選んでください。

映像出力

設定	説明
テレビ画面 （**4:3(レターボックス)**/ 4:3(パンスキャン)/ 16:9(ワイド)/ 16:9(シュリンク))	• 接続されているテレビに合わせて、本機のビデオ出力端子と HDMI 出力端子から出力する画像フォーマットを選んでください。 • [16:9(シュリンク)] は、本機とテレビを HDMI ケーブルで接続して、[HDMI 画素数] を [1280x720p]、[1920x1080i]、または [1920x1080p] に設定しているときだけ選べます。
HDMI 画素数 （720x480i/**720x480p**/1280x720p/1920x1080i/1920x1080p）	本機の HDMI 出力端子から出力するビデオ信号の解像度を選んでください。設定を変更したあとに映像が正しく映らないときは、[720x480p] に戻してください。操作方法は、35 ページの「HDMI 画素数をお買い上げ時の設定に戻す」をご覧ください。
HDMI カラー （RGB フルレンジ /RGB/ **色差**）	本機の HDMI 出力端子から出力するビデオ信号を選んでください。

言語

設定	説明
音声言語 （**日本語** / 英語 / その他の言語※）	DVD ビデオの音声を聴くときの言語を選びます。
字幕言語 （**日本語** / 英語 / その他の言語※）	本機 DVD ビデオを視聴するときに表示される字幕の言語を選びます。
DVD メニュー言語 （**字幕言語に連動** / 日本語 / 英語 / その他の言語※）	DVD ビデオのメニューを表示するときの言語を選びます。
字幕表示 （**オン** / オフ）	字幕を表示するかしないかを選びます。

※「その他の言語」を選んだ場合は、52 ページの「言語コード表」を見て操作してください。

表示

設定	説明
画面表示言語 （**日本語** /English）	操作表示（再生、停止など）の言語を選びます。
アングル表示 （**オン** / オフ）	アングルマークをテレビに表示するかしないかを選びます。
画面表示 （**オン** / オフ）	操作表示（再生、停止など）を画面に表示するかしないかを選びます。

オプション

設定	説明
視聴制限 （暗証番号 / レベル変更 / 国 / 地域コード）	DVD ビデオの視聴を制限します。国 / 地域コードは、52 ページの「言語および国 / 地域コード表」をご覧ください。
DivX VOD	DivX VOD ファイルを再生するときに必要な本機の登録コードを表示します。

HDMI 画素数をお買い上げ時の設定に戻す

1 **本機の電源をオフ（スタンバイ）にする**

電源ボタンを押します。

2 **VOLUME － ボタンを押しながら、⏻ STANDBY/ON ボタンを押す**

本体上面部のボタンを使ってください。電源はオンになります。

タイマー機能を使う

時計を合わせる

タイマーを使う前に本機の時計を合わせてください。

- 電源コードを抜いたときや停電があったときも、再度時計を合わせてください。

1　本体設定画面を表示する

設定ボタンを押します。

2　[時計設定] → [時刻調節] を選んで決定する

⬆/⬇ **ボタン**で選んで、**決定ボタン**を押します。

3　[自動] または [手動] を選んで決定する

⬆/⬇ **ボタン**で選んで、**決定ボタン**を押します。

[手動] を選んだときは手順 4 に進みます。

- [自動] は本機をインターネットに接続しているときだけ働きます。自動で時計を合わせたいときは、インターネットに接続してください。
- ネットワークに接続していなくても [自動] を選べますが、時刻は自動で調節されません。
- 時刻を自動で調節するときは、インターネットサービスを提供しているプロバイダーとの契約・料金が別途必要です。

4　時計を合わせて決定する

⬆/⬇/⬅/➡ **ボタン**または**数字ボタン**で合わせて、**決定ボタン**を押します。

- ⬅/➡ **ボタン**でカーソルが移動します。（時 / 分 / 秒 /AM,PM([時刻フォーマット] が [12 時間表示] のときのみ))
- ⬆/⬇ **ボタン**で数字が変わります。

- **戻るボタン**を押すと、1 つ前の画面に戻ります。

目覚ましタイマーを設定する

1　本体設定画面を表示する

設定ボタンを押します。

2　[タイマー設定] を選んで決定する

⬆/⬇ **ボタン**で選んで、**決定ボタン**を押します。

3　設定したい時刻を合わせて決定する

⬆/⬇/⬅/➡ **ボタン**または**数字ボタン**で合わせて、**決定ボタン**を押します。TIMER インジケーターが点灯します。

- ⬅/➡ **ボタン**でカーソルが移動します。（時 / 分 /AM,PM([時刻フォーマット] が [12 時間表示] のときのみ))
- ⬆/⬇ **ボタン**で数字が変わります。

- **戻るボタン**を押すと、1 つ前の画面に戻ります。
- タイマーを設定したときの入力と音量で、目覚ましタイマーがセットされます。

> **メモ**
> - iPod、DVD/CD、FM ラジオ、インターネットラジオ、および AUX 入力を選んでいるときのみ、目覚ましタイマーを設定できます。

目覚ましタイマーのオン / オフを切り換える

> **メモ**
> - あらかじめ目覚ましタイマーを設定してください。(上記)

1　◷ ボタンを押す

TIMER インジケーターが点灯します。

- ◷ ボタンを押すたびに、目覚ましタイマーのオン / オフが切り換わります。

目覚ましタイマーを使って音楽を再生する

1　目覚ましタイマーをオンする

2　電源をオフ（スタンバイ）にする

電源ボタンを押します。

3　設定した時間になると電源がオンになり、設定された入力モードで再生が開始される

- 目覚ましタイマーで再生を開始したあと、本機を操作しないで 60 分が経過すると、自動で本機の電源がオフ（スタンバイ）になります。

メモ
- 目覚ましタイマーで再生を開始するときに iPod/ iPhone が接続、またはディスクが挿入されていないと、その入力モードで電源がオンになりますが、再生されません。また、ディスクによっては自動で再生されないことがあります。

スリープタイマーを使う

設定した時間が経過すると、自動的に電源がオフになります。音楽を聞きながら眠ったりするときに便利な機能です。

- **設定したい時間を表示する**
  スリープボタンを押すたびに以下のようにタイマー時間が変わります。
  5 分→ 15 分→ 30 分→ 60 分→ 90 分→ OFF → …

メモ
- スリープタイマーの残り時間を表示しているときに**スリープボタン**を押すと、スリープタイマーの時間を設定し直せます。

ネットワークの設定をする

DHCP サーバー機能のあるルーターと本機を接続するときは、DHCP サーバー機能をオンにするだけで、ネットワークの設定を手動でする必要はありません。DHCP サーバー機能がないルーターに接続しているときのみ以下のネットワークの設定を行います。設定の際はプロバイダー、またはネットワーク管理者からの設定値を確認してから設定してください。
ネットワーク上の機器の取扱説明書もあわせてご覧ください。

- DHCP サーバー機能がないルーターの設定が変更になったときは、本機の設定も変更してください。

1 本体設定画面を表示する
設定ボタンを押します。

2 [ネットワーク設定] → [接続設定] を選んで決定する
⬆/⬇ ボタンで選んで、**決定ボタン**を押します。

3 [有線設定] または [無線設定] を選んで決定する
⬆/⬇ ボタンで選んで、**決定ボタン**を押します。

ここからはネットワークの接続方式別に説明します。([有線設定] または [無線設定]）お使いの方式に合わせて設定してください。

有線設定

1 [DHCP オフ] を選んで決定する
⬆/⬇ ボタンで選んで、**決定ボタン**を押します。
IP アドレス設定画面が表示されます。

2 IP アドレスを入力して決定する
⬆/⬇/⬅/➡ ボタンまたは**数字ボタン**で入力して、**決定ボタン**を押します。

- **⬅/➡ ボタン**でカーソルが移動します。
- **⬆/⬇ ボタン**で数字が変わります。

[IP アドレス]
入力する IP アドレスは下記の範囲で設定してください。下記以外の IP アドレスではミュージックサーバーやインターネットラジオを再生できません。
CLASS A: 10.0.0.1 ～ 10.255.255.254
CLASS B:172.16.0.1 ～ 172.31.255.254
CLASS C: 192.168.0.1 ～ 192.168.255.254
[サブネットマスク]
xDSL モデムやターミナルアダプターを直接本機に接続している場合は、プロバイダーから書面などで通知されたサブネットマスクを入力します。通常は 255.255.255.0 が入ります。

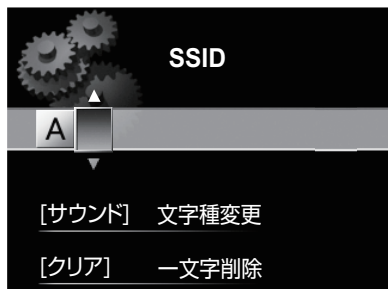
[ゲートウェイ IP]
ゲートウェイ(ルーター)に接続している場合は、その IP アドレスを入力します。
[DNS(1st)]/[DNS(2nd)]
プロバイダーから書面などで通知された DNS アドレスが 1 つの場合は、[DNS(1st)] に入力してください。2 つ以上の場合は、もう 1 つを [DNS(2nd)] に入力してください。
[プロキシ設定]
インターネットにプロキシサーバーを経由して接続するときは [利用する] を選びます。[プロキシサーバーアドレス] にはプロキシサーバーのアドレスまたはドメイン名を入力してください。[ポート番号] にはプロキシサーバーのポート番号を入力してください。

無線設定

1 [手動] を選んで決定する

⬆/⬇ ボタンで選んで、**決定ボタン**を押します。
- [自動] を選んだときは、接続したいネットワークを選びます。手順 4 に進みます。

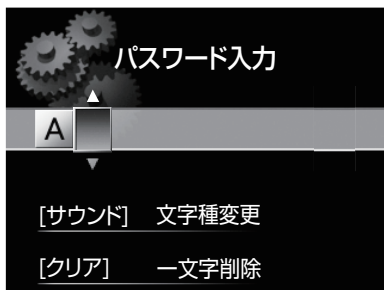
2 SSID を入力して決定する

⬆/⬇/⬅/➡ ボタンで入力して、**決定ボタン**を押します。
- **⬅/➡ ボタン**でカーソルが移動します。
- **⬆/⬇ ボタン**で文字が変わります。
- **サウンドボタン**で文字の種類が切り換わります。
- **クリアボタン**で 1 つの文字を消去します。

3 セキュリティの種類を選んで決定する

⬆/⬇ ボタンで入力して、**決定ボタン**を押します。

- [なし] を選んだときは、手順 5 に進みます。

4 パスフレーズまたは WEP キーを入力して決定する

⬆/⬇/⬅/➡ ボタンで入力して、**決定ボタン**を押します。
- **⬅/➡ ボタン**でカーソルが移動します。
- **⬆/⬇ ボタン**で文字が変わります。
- **サウンドボタン**で文字の種類が切り換わります。
- **クリアボタン**で 1 つの文字を消去します。

5 [DHCP オフ] を選んで決定する

⬆/⬇ ボタンで選んで、**決定ボタン**を押します。
IP アドレス設定画面が表示されます。

6 IP アドレスを入力して決定する

⬆/⬇/⬅/➡ ボタンまたは**数字ボタン**で入力して、**決定ボタン**を押します。
- **⬅/➡ ボタン**でカーソルが移動します。
- **⬆/⬇ ボタン**で数字が変わります。
- 下記の項目も設定してください。詳しくは「有線設定」をご覧ください。(37 ページ)
  [IP アドレス]
  [サブネットマスク]
  [ゲートウェイ IP]
  [DNS(1st)]/[DNS(2nd)]
  [プロキシ設定]

WPS 接続設定

WPS は Wi-Fi Protected Setup の略語です。Wi-Fi Alliance が定めた規格で、WPS 対応機器の接続とセキュリティの設定が簡単な操作でできます。
本機は、PBC(プッシュボタン) 方式と PIN 方式に対応しています。

重要

- WPS 接続設定をするときは、[ネットワーク設定] の [接続方式] を [自動] または [無線] に設定してください。(32 ページ)

1　本体設定画面を表示する
設定ボタンを押します。

2　[ネットワーク設定] → [WPS] を選んで決定する
⬆/⬇ **ボタン**で選んで、**決定ボタン**を押します。

3　[PBC(プッシュボタン) 方式] または [PIN 方式] を選んで決定する
⬆/⬇ **ボタン**で選んで、**決定ボタン**を押します。

- [PBC(プッシュボタン) 方式]
  WPS 対応の無線 LAN 機器の WPS ボタンを押すだけで自動で接続設定を行います。本機のメインディプレイの指示に従ってください。WPS 対応の無線 LAN 機器に WPS ボタンがあるときに設定可能な方法で、最も簡単な接続設定方法です。
- [PIN 方式]
  接続可能なアクセスポイントの SSID をリスト表示し、その中から接続したいアクセスポイントを選びます。本機の画面に表示される 8 桁の PIN コードを接続したいアクセスポイントに入力することで接続設定を行います。

[PIN 方式] で接続する

1　[ネットワーク設定] → [WPS] → [PIN 方式] を選んで決定する
設定ボタンを押して、⬆/⬇ **ボタン**で選んで**決定ボタン**を押します。

2　接続したいアクセスポイントを選んで決定する
⬆/⬇ **ボタン**で選んで、**決定ボタン**を押します。

3　本機の PIN コードを確認して決定する
本機のメインディプレイに PIN コードが表示されます。**決定ボタン**を押すと PIN コード確認画面が閉じます。

4　アクセスポイントに PIN コードを入力する
PIN コード確認画面を閉じてから 2 分以内に、表示された PIN コードを選んだアクセスポイントに入力してください。

- PIN コードの入力方法は無線 LAN 機器によって異なります。詳しくは、無線 LAN 機器の取扱説明書をご覧ください。

電波に関するご注意

本機は、2.4 GHz の周波数帯の電波を利用しています。この周波数の電波は、一般家庭でもいろいろな機器 (電子レンジやコードレスフォンなど) で使用されています。

以下のような場所で本機を使用する場合、送信 / 受信ができなくなることがあります。

- 2.4 GHz を利用する無線 LAN、また電子レンジなどの機器の磁場、静電気、電波障害が発生するところ。(環境により電波が届かない場合があります。)
- ラジオから離してお使いください。(ノイズが出る場合があります。)
- テレビにノイズが出た場合、本機 (および本機対応製品）がテレビ、ビデオ、BS チューナー、CS チューナーなどのアンテナ入力端子に影響を及ぼしている可能性があります。本機 (および本機対応製品) をアンテナ入力端子から遠ざけて設置してください。

⚠注意

- 本機の使用によって発生した損害については、法令上賠償責任が認められる場合を除き、当社は一切の責任を負いかねます。あらかじめご了承ください。
- 本機は、すべての無線 LAN 機器との接続動作を保証するものではありません。
- 弊社ではお客様のネットワーク接続環境、接続機器に関する通信エラーや不具合について、一切の責任を負いかねます。あらかじめご了承ください。プロバイダーまたは各接続機器のメーカーにお問い合わせください。
- インターネットをお使いになるときは、インターネットサービスを提供しているプロバイダーとの契約・料金が別途必要です。

安全にお使いいただくために

- 高精度な制御や微弱な信号を取り扱う電子機器の近くでは使用しない。電子機器に誤動作するなどの影響を与え、事故の原因となる恐れがあります。
- 航空機内や病院など、使用を禁止された場所では使用しないでください。電子機器や医療用電気機器に影響を与え、事故の原因となる恐れがあります。医療機関などの指示に従ってください。

ご注意いただきたい電子機器の例

補聴器、ペースメーカー、その他医療用電気機器、火災報知器、自動ドア、その他自動制御機器など。

ペースメーカー、その他医療用電気機器をご使用される方は、該当の各医療用電気機器メーカーまたは販売業者に電波による影響についてご確認ください。

電波法に基づく認証について

本機は電波法に基づく小電力データ通信の無線設備として認証を受けています。したがって、本製品を使用するときに無線局の免許は必要ありません。ただし、以下の行為を行うと法律により罰せられることがあります。

- 本機を分解 / 改造すること。
- 本機に貼ってある証明ラベルをはがすこと。

周波数について

2.4 DS/OF 4

この無線機器は 2.4 GHz 帯を使用します。変調方式として DS-SS 変調方式および OFDM 変調方式を採用し、想定される与干渉距離は約 40 m です。

この機器の使用周波数帯では、電子レンジなどの産業・科学・医療用機器のほか、工場の製造ラインなどで使用されている移動体識別用の構内無線局 (免許を要する無線局) および特定小電力無線局 (免許を要さない無線局) 並びにアマチュア無線局 (免許を要する無線局) が運用されています。

1 この機器を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局および特定小電力無線局並びにアマチュア無線局が運用されていないことを確認してください。

2 万一、この機器から移動体識別用の構内無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合には、すみやかに使用周波数を変更するか、または電波の発射を停止したうえで、パイオニアご相談窓口にご連絡いただき、混信回避のための処置など (たとえば、パーティションの設置など) についてご相談ください。

3 その他、この機器から移動体識別用の特定小電力無線局あるいはアマチュア無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合など、何かお困りのことが起きたときは、パイオニアご相談窓口にお問い合わせください。

フレンドリーネーム

ネットワークに接続したパソコンや他機器に表示される本機の名前を変更します。

1 [ネットワーク設定] → [フレンドリーネーム] を選んで決定する

設定ボタンを押して、**⬆/⬇ ボタン**で選んで**決定ボタン**を押します。

2 フレンドリーネーム入力して決定する

⬆/⬇/⬅/➡ ボタンで入力して、**決定ボタン**を押します。

- **⬅/➡ ボタン**でカーソルが移動します。
- **⬆/⬇ ボタン**で文字が変わります。
- **サウンドボタン**で文字の種類が切り換わります。
- **クリアボタン**で 1 つの文字を消去します。

ペアレンタルロック設定

インターネットラジオの視聴制限ができます。[インターネットペアレンタルロック] を [オン] にすると、インターネットラジオを視聴するときに、パスワードの入力が必要になります。

インターネットペアレンタルロックのオン / オフを切り換える

1　本体設定画面を表示する
設定ボタンを押します。

2　[オプション設定] → [インターネットペアレンタルロック] → [インターネットペアレンタルロック] を選んで決定する
⬆/⬇ ボタンで選んで、**決定ボタン**を押します。

3　パスワードを入力する
⬆/⬇/⬅/➡ ボタン、または**数字ボタン**で入力して、**決定ボタン**を押します。

- **⬅/➡ ボタン**でカーソルが移動します。
- **⬆/⬇ ボタン**で文字が変わります。
- **クリアボタンで** 1 つの文字を消去します。
- お買い上げ時のパスワードは [0000] に設定されています。

4　[オン] または [オフ] を選んで決定する
⬆/⬇ ボタンで選んで、**決定ボタン**を押します。

パスワードを変更する

1　本体設定画面を表示する
設定ボタンを押します。

2　[オプション設定] → [インターネットペアレンタルロック] → [パスワード変更] を選んで決定する
⬆/⬇ ボタンで選んで、**決定ボタン**を押します。

3　現在のパスワードを入力する
⬆/⬇/⬅/➡ ボタン、または**数字ボタン**で入力して、**決定ボタン**を押します。

4　新しいパスワードを入力する
⬆/⬇/⬅/➡ ボタン、または**数字ボタン**で入力して、**決定ボタン**を押します。

- **戻るボタン**を押すと、1 つ前の画面に戻ります。

ソフトウェアアップデート

USB メモリーを使って、本機のソフトウェアを更新できます。
パソコンでダウンロードした更新ファイルを USB メモリーに書き込み、USB メモリーを本体前面部の USB 端子に接続します。

- パイオニアのホームページからパソコンに更新ファイルをダウンロードしてください。ダウンロードした更新ファイルは ZIP 形式ですが、ZIP を解凍してから USB メモリーに書き込んでください。また、USB メモリーに古い更新ファイルや他機種の更新ファイルがあるときはそれらを削除してください。

重要
- 更新中は絶対に電源プラグおよび USB メモリーを抜かないでください。

1　USB 入力に切り換える
FUNCTION ▲/▼ ボタンを押します。メインディスプレイに **USB** が表示されます。

2　本体設定画面を表示する
設定ボタンを押します。

3　[オプション設定] → [ソフトウェアアップデート] → [開始] を選んで決定する
⬆/⬇ ボタンで選んで、**決定ボタン**を押します。

4　[OK] を選んで決定する
更新画面が表示され、更新が始まります。

- 更新が終わると、自動で電源がオフ (スタンバイ) になります。

ソフトウェア更新で表示されるメッセージ

メッセージ	内容
ファイルが見つかりません	USB メモリー内に更新ファイルが見つかりません。更新ファイルは USB メモリーのルートディレクトリに保存してください。

サウンド設定

バーチャルサラウンド / サウンドレトリバーを使う

音響効果を加えて再生できます。

1　サウンド設定画面を表示する
サウンドボタンを押します。

2　[バーチャルサラウンド] または [サウンドレトリバー] を選んで決定する
⬆/⬇ ボタンで選んで、**決定ボタン**を押します。

3　[オン] または [オフ] を選んで決定する
⬆/⬇ ボタンで選んで、**決定ボタン**を押します。

サウンドレトリバー機能

圧縮音声は圧縮処理される過程で、削除されてしまう部分があります。サウンドレトリバー機能は、削除された部分を補い、音の密度感や抑揚感を向上させて再生します。

低音 / 高音の音質調整

高音と低音を操作して、本機のスピーカーの音を整えます。

1　サウンド設定画面を表示する
サウンドボタンを押します。

2　[バス] または [トレブル] を選んで決定する
⬅/➡ ボタンで選んで、**決定ボタン**を押します。
高音、低音とも +5 ～ －5 の範囲で調整できます。

すべての設定をお買い上げ時の設定に戻す

重要
・ 操作する前に本機に接続している機器をすべて取り外してください。

1　電源をオンにする
電源ボタンを押します。

2　■（停止）ボタンを押しながら ⏻ STANDBY/ON ボタンを 3 秒間押す
本体上面部のボタンで操作します。電源がオフになります。

再生できるディスク／ファイル

再生できるディスク

- 本機はNTSC（日本のテレビ方式）に適合していますので、ディスクやパッケージに「NTSC」と表示されているディスクをお使いください。

フォーマット	説明
DVD-Video	• 市販のDVDビデオ • ビデオモードで記録されているDVD-R/-RW/-R DL、およびDVD+R/+RW/+R DL
DVD VR	VRモードで記録されているDVD-R/-RW/-R DL ＊ CPRMに対応していますので、デジタル放送番組をVRモードで録画したDVDの再生ができます。
Video CD	ビデオCD
CD(R/RW)	• 市販の音楽CD • CD-DAフォーマットで音楽が記録されているCD-R/-RW/-ROM
JPEG	DVD-R/-RW/-R DLおよびCD-R/-RW/-ROMに記録されているJPEGファイル
DivX®	DVD-R/-RW/-R DLおよびCD-R/-RW/-ROMに記録されているDivXビデオファイル
WMA	DVD-R/-RW/-R DLおよびCD-R/-RW/-ROMに記録されているWMAファイル
MP3	DVD-R/-RW/-R DLおよびCD-R/-RW/-ROMに記録されているMP3ファイル
FUJICOLOR-CD	

- **DVD-R/-RW/+R/+RWやCD-R/-RWなどの記録メディアは、ファイナライズされているもののみ再生できます。**ファイナライズやその方法については、ご使用の録画・録音機器の取扱説明書をご覧ください。（本機ではファイナライズできません。）
- 8 cmディスクは再生できません。また、故障の原因になるため8 cm CDアダプターは使用しないでください。
- パケットライト方式で記録されたディスクは再生できません。
- DVD はDVDフォーマットロゴライセンシング（株）の商標です。
- は富士フイルム株式会社の商標です。

メモ

- iPod/iPhoneで再生できるファイルについては、iPod/iPhoneの取扱説明書をご覧ください。
- マルチセッションのディスクやマルチボーダーレコーディングには対応していません。
- マルチセッション/マルチボーダーレコーディングとは、1枚のディスクに2つ以上のセッションやボーダーを記録する方法です。「セッション」や「ボーダー」は、始まりから終わりまでを含んでいる完成した録音単位です。

再生できないディスク

- ブルーレイディスク
- HD DVD
- AVCHD
- AVCREC
- DVDオーディオ
- DVD-RAM
- SACD（スーパーオーディオCD）
- CD-G

リージョンナンバー（地域番号）について

DVDプレーヤーとDVDビデオには、販売地域ごとにリージョンナンバーが設定されています。
本機に設定されたリージョンナンバーが、再生するディスクのリージョンナンバーに含まれていないときは再生できません。
本機（日本向け）で再生できるリージョンナンバーは「2（2を含む）」または「ALL」です。

コピーコントロールCDについて

当製品は音楽CD規格に準拠して設計されています。CD規格外ディスクの動作保証および性能保証は致しかねます。

DualDiscの再生について

- 「DualDisc」は、片面にDVD規格準拠の映像やオーディオが、もう片面にCD再生機での再生を目的としたオーディオがそれぞれ収録されています。
- DVD面ではないオーディオ面は一般的なCDの物理的規格に準拠していないために、再生できないことがあります。
- 「DualDisc」のDVDの面は再生できます。
- 「DualDisc」の仕様や規格などの詳細に関しましては、ディスクの発売元または販売元にお問い合わせください。

パソコンで作成したDVDディスクの再生について

- レコーダー、またはパソコンで記録したディスクを再生できないことがあります（原因：ディスクの特性、傷、汚れ、プレーヤーのレンズの汚れ、または結露など）。
- パソコンで記録したディスクは、アプリケーションの設定、および環境によっては再生できないことがあります。正しいフォーマットで記録してください（詳細はアプリケーションの発売元にお問い合わせください）。

再生できるファイル

- ISO9660レベル1/レベル2のCD-ROMファイルシステムおよび拡張フォーマット（Joliet/Romeo）に準拠して記録されたディスクだけ再生できます。
- DRMで保護されているファイルは再生できません。
- DVD-R/-RW/-R DLおよびCD-R/-RW/-ROMに記録されているWMVやMPEG-4 AACの再生は、保証いたしかねますのであらかじめご了承ください。

メモ

- DRM（Digital Rights Management）コピープロテクトは著作権保護のための技術で、違法な複製を防止するために録音時に使用したPCなどの機器以外での再生を制限する機能です。詳しくは、録音に使用した機器・アプリケーションの取扱説明書やヘルプなどをご覧ください。

動画ファイルの再生について

DivXファイルの再生について

- DIVXビデオについて：DivX®は、DivX, Inc.が開発したデジタルビデオフォーマットです。本製品は、DivXビデオの再生に対応した正規のDivX Certified®（DivX認証）デバイスです。詳細情報およびビデオファイルをDivX形式に変換するためのソフトウェアについては、divx.comをご覧ください。

DIVX™

- プレミアムコンテンツを含むDivX®ビデオ再生対応のDivX Certified®（DivX認証）取得済み。
- DivX®、DivX Certified®、およびこれらの関連ロゴは、DivX, Inc.の登録商標であり、ライセンス許諾に基づき使用しています。
- **再生できるファイル**
  拡張子：「.divx」、「.avi」
  解像度：720 × 480まで
- 「.avi」の拡張子が付いたファイルでもDivX® video信号を含んでいないファイルは再生できません。

画像ファイルの再生について

JPEGファイルの再生について

- 総ピクセル数が3072 × 2048ピクセル以下のベースラインJPEGおよびExif2.2※に準拠しているJPEGの再生に対応しています。
  ※デジタルスチルカメラ用画像ファイル
  フォーマット規格（Exif）Ver2.2、
  JEIDA-49-1998
  （社）電子情報技術産業協会 JEITA
- **再生できるファイルの拡張子**
  「.jpg」、「.jpeg」

音声ファイルの再生について

本機では以下の音声ファイルが再生できます。下記のファイル形式でも再生できないファイルもあります。また、サーバーによって対応しているファイル形式が異なります。サーバーの対応しているファイル形式か確認してください。

- 本機が対応していない形式のファイルを再生すると、音声がとぎれたりノイズが出ることがあります。このときは、本機が対応しているファイル形式か確認してください。
- インターネットラジオはインターネット通信環境の影響を受けることがあります。このときは、下記のファイル形式でも再生できないことがあります。

ファイルの種類	拡張子	ストリーム		
MP3[*1]	.mp3	MPEG-1/2 Audio Layer-3	サンプリング周波数	8 kHz ～ 48 kHz
			量子化ビット数	16 ビット
			チャンネル数	2 チャンネル
			ビットレート	8 kbps ～ 320 kbps
			VBR/CBR	対応 / 対応
LPCM	—[*2]	LPCM	サンプリング周波数	8 kHz ～ 48 kHz
			量子化ビット数	16 ビット
			チャンネル数	2 チャンネル
WAV	.wav	LPCM	サンプリング周波数	8 kHz ～ 192 kHz (ミュージックサーバー (有線))
				8 kHz ～ 48 kHz (ミュージックサーバー(無線))
				8 kHz ～ 96 kHz (USB)
			量子化ビット数	16 ビット、20 ビット、24 ビット
			チャンネル数	2 チャンネル
WMA	.wma	WMA2/7/8/9	サンプリング周波数	8 kHz ～ 48 kHz
			量子化ビット数	16 ビット
			チャンネル数	2 チャンネル
			ビットレート	5 kbps ～ 320 kbps
			VBR/CBR	対応 / 対応
AAC	.m4a .aac .3gp .3g2	MPEG-4 AAC LC MPEG-4 HE AAC (AAC Plus v1/2)	サンプリング周波数	32 kHz ～ 48 kHz
			量子化ビット数	16 ビット
			チャンネル数	2 チャンネル
			ビットレート	16 kbps ～ 320 kbps
			VBR/CBR	対応 / 対応
FLAC	.flac	FLAC	サンプリング周波数	32 kHz ～ 192 kHz (ミュージックサーバー (有線))
				32 kHz ～ 48 kHz (ミュージックサーバー (無線))
				32 kHz ～ 96 kHz (USB)
			量子化ビット数	16 ビット、24 ビット
			チャンネル数	2 チャンネル
			ビットレート	—
			VBR/CBR	—

[*1] MPEG Layer-3 音声復号化技術は、Fraunhofer IIS および Thomson multimedia からライセンスされています。
[*2] サーバーからのストリーミングデータのみ対応のため、拡張子はありません。

その他

故障かな？と思ったら

故障かな？と思ったらチェックしてみてください。ちょっとした操作ミスが故障と思われがちです。また、本機以外の原因も考えられます。ご使用の他の機器および同時に使用している電気機器もあわせてお調べください。以下の項目に従って再度点検されても直らないときは、お買い求めの販売店またはお近くのサービスステーションにお問い合わせください。

- 静電気など、外部からの影響により本機が正常に動作しないことがあります。このようなときは、電源コードを一度抜いて再び差し込むことで正常動作になる場合があります。これで解決しないときは、お買い求めの販売店または最寄りのサービスステーションにご相談ください。

一般

症状	原因 / 対策	参照ページ
設定が消えてしまった。	本体の ⏻ **STANDBY/ON** ボタンまたはリモコンの電源ボタンを押して、本体前面部の **POWER ON** インジケーターが消えてから電源コードを抜いてください。	11、13
電源をオンにできない。	[高速起動モード] を [オン] にしているときに電源コードを抜くと、次回電源コードを接続したときに 1 分程度操作できなくなります。1 分以上待ってから電源ボタンを押してください。	33
DVD、CD、MP3、WMA、iPod/iPhone、FM ラジオ、外部入力（AUX）で音量差を感じる。	入力機器や記録方式の違いにより音量差を感じることがあります。	—
リモコンで操作できない。	• 本機から離れた場所で操作していませんか。リモコン受光部との距離が 7 m の範囲で操作してください。 • リモコン受光部に直射日光や蛍光灯などの強い光が当たっていませんか。リモコン受光部に直射日光や蛍光灯などの強い光が当たると、リモコンの信号を受けにくくなることがあります。 • リモコンの電池がなくなっていませんか。新しい電池に換えてください。	6
• 電源が自動でオフになる。 • 自動でデモ画面が表示される。	[自動モード切替] が [省電力モード] または [デモモード] に設定されていませんか。[自動モード切替] を [オフ] に設定してください。	33
Bluetooth 機能搭載機器と接続できない、操作できない、音が出ない、音がとぎれる。	• 2.4 GHz 帯の電磁波を発する機器（電子レンジ、無線 LAN 機器、他の *Bluetooth* 機能搭載機器など）が近くにありませんか。これらの機器から本機を離して設置するか、電磁波を発する他の機器の使用をおやめください。 • *Bluetooth* 機能搭載機器と本機が離れすぎていたり、間に障害物がありませんか。同じ部屋で障害物のない、見通し距離 10 m※以内に設置してください。 ※ 見通し通信距離は目安です。周囲環境により通信距離が変わる場合があります。 • *Bluetooth* 機能搭載機器が *Bluetooth* 無線通信できる状態になっていますか？ *Bluetooth* 機能搭載機器の設定を確認してください。 • ペアリングが正しく行われていなかったり、本機か *Bluetooth* 機能搭載機器側のどちらかでペアリングの設定を消去しませんでしたか。再度ペアリングの操作を行ってください。 • 接続したい機器はプロファイルに対応していますか。A2DP および AVRCP に対応した *Bluetooth* 機能搭載機器を使用してください。	22

ディスク再生

症状	原因 / 対策	参照ページ
• ディスクが再生できない。 • ディスクが自動で出てきてしまう。	• ディスクに傷がついていると、再生できないことがあります。 • ディスクが汚れているときは、ディスクをクリーニングしてください。 • ディスクが正しく挿入されていますか。印刷面を手前に向けて挿入してください。 • DVD ビデオディスクのリージョンナンバーは正しいですか。本機で再生できるリージョンナンバーは「2 (2 を含む)」または「ALL」です。 • 湿気の多い場所に設置していませんか。内部が結露している可能性があります。結露が消えるまでお待ちください。なお、エアコンなどの近くに設置しないでください。	24、43、53
• 映像が伸びている。 • 縦横比が切り換えられない。	• 接続しているテレビの縦横比は正しく設定されていますか。テレビの取扱説明書をご覧になり、テレビの縦横比を正しく設定してください。 • [テレビ画面] は正しく設定してください。	34
• 再生中に映像が乱れる。 • 映像が暗い。	• 本機はロヴィコーポレーションのコピープロテクトに対応しています。テレビによってはコピー禁止信号が記録されているディスクを再生したときに正しく映らないことがあります。これは故障ではありません。 • ビデオデッキなどを経由して本機とテレビを接続したときは、本機のアナログコピープロテクトによってビデオデッキで再生した映像が正しく映りません。本機とテレビは直接接続してください。	—
ディスクを再生すると音声や映像がとぎれる。	再生音量が大きくないですか。大音量で再生すると音声 , 映像がとぎれるときは、音量を小さくして使用してください。	—
フォルダー名またはファイル名が正しく表示されない。	フォルダー名またはファイル名が 15 文字以上になっていませんか。ディスクナビゲーターで表示できるフォルダー名またはファイル名の文字数は、半角英数字 14 文字までです。	—

USB

症状	原因 / 対策	参照ページ
USB メモリーを認識できない。	• USB メモリーが正しく接続されていますか。奥までしっかり差し込んでください。 • 本機は USB ハブには対応していません。USB メモリーは直接接続してください。 • 本機が USB メモリーを不正な機器と認識していることがあります。一度本機の電源をスタンバイにしてから、再びオンにしてください。 • USB メモリーは、USB マスストレージクラスに属していますか。USB マスストレージクラスに属する USB メモリーをお使いください(ただし、USB マスストレージクラスに属する USB メモリーであっても、本機で再生できないものもあります)。 • USB メモリーのフォーマットが、FAT16 または FAT32 であるか確認してください。FAT12、NTFS、HFS は本機で再生できません。 • 本機は外付けハードディスクドライブには対応していません。	9、25
USB メモリーを認識するのに時間がかかる。	容量が大きい USB メモリーの場合、認識するまで時間がかかることがあります。	—
USB メモリーを接続していて画面には表示されるが再生できない。	• ファイルに DRM コピープロテクト（著作権保護）がかかっていませんか。著作権保護のかかった WMA や MPEG-4 AAC のファイルは再生することができません。パソコンなどで CD などの音楽データを取り込む場合、設定によっては著作権保護がかかることがあります。 • 本機で再生できるファイルフォーマットか確認してください。 • パソコンに保存されているファイルは再生できません。	44

症状	原因 / 対策	参照ページ
USB メモリーに電力が供給されない。	本体前面のディスプレイにエラーが表示されていませんか。 • 電源を入れ直してください。 • 本機の電源をオフ（スタンバイ）にしてから、USB メモリーを外して、再度接続し直してください。 • **FUNCTION ▲/▼ ボタン**を押して USB 以外の入力に切り換えてから、もう一度 **FUNCTION ▲/▼ ボタン**で USB 入力に戻してください。	9、25

ディスク / USB 共通

症状	原因 / 対策	参照ページ
フォルダー名またはファイル名が正しく表示されない。	1 枚のディスクおよび 1 つの USB メモリーで認識できるフォルダーの数は 299 までです。また、1 つのフォルダー内で認識できるファイルの数は 648 までです。フォルダー構造によっては、フォルダーまたはファイルを認識できないことがあります。	—
フォルダー名またはファイル名がアルファベット順に表示されない。	メインディスプレイに表示されるフォルダとファイル名の順序は、フォルダまたはファイルが記録されたときの内容に従います。	—
JPEG ファイルを表示するのに時間がかかる。	大きなファイルを表示するときは時間がかかることがあります。	44
JPEG ファイルを表示するとき黒い部分が表示される。	画像の縦横比がテレビと異なっていませんか。異なった縦横比の画像を表示すると、天地または左右に黒い部分が表示されることがあります。	34

HDMI

症状	原因 / 対策	参照ページ
画像が表示されない。	• HDMI ケーブルを一度抜いてから、再度奥までしっかり差し込んでください。 • 解像度（HDMI 画素数）は正しく設定してください。 • 解像度（HDMI 画素数）をお買い上げ時の設定（720x480p）に戻してください。 • HDMI ケーブルによっては、1080p の映像が出力されないことがあります。	35
HDMI 出力から音が出ないまたはひずむ。	• HDMI 出力の設定を LPCM または自動に設定してください。 • DVD/CD 以外の音声は HDMI OUT 端子から出力されません。	34
HDMI 出力からマルチチャンネルの音声信号が出力されない。	• HDMI 出力の設定を自動に設定してください。 • DVD/CD 以外の音声は HDMI OUT 端子から出力されません。	34
テレビ画面の色が正しく表示されない。	設定（HDMI カラー）を変更してみてください。	34

iPod/iPhone

症状	原因 / 対策	参照ページ
iPod/iPhone を操作できない。	• iPod/iPhone が正しく接続されているか確認してください。また、iPod/iPhone を接続し直してください。 • 接続されている iPod/iPhone が本機に対応しているか確認してください。 • iPod/iPhone 本体がハングアップしている可能性があります。iPod/iPhone をリセットして接続し直してください。	17
• 映像が伸びている。 • 縦横比が切り換えられない。	• iPod/iPhone の再生映像の設定を変えるときは、iPod/iPhone を直接操作してください。	—

ネットワーク

症状	原因 / 対策	参照ページ
ネットワークに接続できない。	LAN ケーブルが抜けていませんか。LAN ケーブルを正しく接続してください。	9
	ルーターの電源がオフになっていませんか。ルーターの電源を入れてください。	
WPS でネットワークに接続できない。	[接続方式] が [有線] になっていませんか。[接続方式] を [無線] または [自動] に切り換えてください。	32
パソコンなどのネットワーク上の機器の音楽ファイルが再生できない。	接続している機器にインターネットセキュリティーソフトウェアなどがインストールされている場合、機器に接続できないことがあります。	—
	本機の電源がオンの状態で、電源がオフだったネットワーク上の機器の電源をオンにしていませんか。本機の電源をオンにする前にネットワーク上の機器の電源をオンにしておいてください。	—
	接続している機器の設定が正しくされているか確認してください。クライアントを自動で承認（許可）したときは、改めて入力する必要があります。接続の設定が「許可しない」になっていないか確認してください。	—
	接続している機器に再生できるファイルがない場合は、保存されているファイルを確認してください。	—
再生が始まらない。	接続している機器の電源や接続が切れていませんか。接続している機器の電源や接続を確認してください。	—
パソコンおよびインターネットラジオが正しく動作しない。	IP アドレスは正しく設定されていますか。ルーターの DHCP サーバー機能をオンにするか、ネットワーク環境に合わせて、本機の IP アドレス、プロキシを手動で設定してください。	37
	IP アドレスを自動設定している場合、時間がかかります。しばらくお待ちください。	—
パソコンなどのネットワーク上の機器の音楽ファイルが再生できない。	パソコンに Windows Media Player11 または 12 がインストールされているか確認してください。	—
	音楽ファイルが、MP3 、WAV（LPCM のみ）、MPEG-4AAC、FLAC、WMA フォーマットで記録されているか確認してください。それらのファイルであっても本機で再生できないこともあります。	—
	Windows Media Player 11 または 12 で MPEG-4 AAC や FLAC ファイルを再生しようとしていませんか。Windows Media Player 11 または 12 では MPEG-4 AAC や FLAC ファイルを再生することはできません。他のサーバーを使用してください。	—
	ネットワークに接続している機器が待機状態やスリープモードになっていないか確認してください。必要に応じて再起動してみてください。	—
	ネットワークに接続している機器がファイルの共有を許可していない場合は、接続している機器の設定を変更してください。	—
	ネットワークに接続している機器のフォルダーが削除または破損していませんか。フォルダーを確認してください。	—
	ネットワークに接続している機器の設定で接続が制限されている場合があります。ネットワークに接続している機器の接続やセキュリティの設定を確認してください。	—
Windows Media Player 11 または 12 に接続できない。	OS に Windows XP または Windows7 を使用しているパソコンで、ドメインにログオンしていませんか。ドメインではなく、ローカルマシンにログオンしてください。	—

症状	原因 / 対策	参照ページ
音声が自動で停止したり乱れたりする。	本機で再生できるファイルフォーマットか確認してください。本機で再生できる拡張子がついたファイルでも再生できないことや表示されないことがあります。	45
	フォルダーが壊れていないか確認してください。	—
	LAN ケーブルが抜けていませんか。LAN ケーブルを正しく接続してください。	9
	同一ネットワーク上でインターネット通信が行われているなど、ネットワークの通信が混雑していませんか。ネットワーク上の機器と接続するときは 100BASE-TX をご使用ください。	—
	同一ネットワーク上に無線 LAN を経由する接続がある。 • 無線 LAN で使用する 2.4 GHz 帯の帯域が不足している可能性があります。無線 LAN を経由しない有線 LAN で接続してください。 • 2.4 GHz 帯の電磁波を発する機器（電子レンジ、ゲーム機など）を離して設置してください。それでも改善されないときは電磁波を発する他の機器の使用をおやめください。	9
インターネットラジオが再生できない。	ネットワーク機器のファイアウォールの設定を確認してください。	—
	インターネットの接続が切断されていませんか。ネットワーク機器の設定が正しいか確認し、必要に応じてネットワーク接続業者にお問い合わせください。	—
	ラジオ局の放送が中止、中断されている場合があります。放送局リストで選択できる放送局でも再生できないことがあります。	—

ワイヤレス LAN

症状	原因 / 対策	参照ページ
無線 LAN 経由でネットワークにアクセスできない。	LAN ケーブルを本機に接続したまま、[接続方式] を [自動] に設定していませんか。[接続方式] を [無線] に切り換えるか、LAN ケーブルを本機から抜いて電源を入れ直してください。	32
	無線 LAN ルーターなどの機器と本機の間に距離があったり、障害物がありませんか。無線 LAN ルーターなどの機器との距離を近づけるなど無線 LAN 環境を改善してください。	
	電子レンジなど電磁波が発生する近くに無線 LAN 環境がある場合は、その場所から本機を離して使用してください。 無線 LAN 接続で本機を使用するときは、電磁波が発生する機器をなるべく使用しないようにしてください。	
	複数の機器を無線 LAN ルーターに接続していませんか。複数の機器を無線 LAN ルーターに接続する場合は、接続している機器の IP アドレスを変更する必要があります。	
	本機と無線 LAN ルーターなどの機器との無線 LAN 接続ができていない場合は、本機と無線 LAN ルーターなどの機器との接続を設定する必要があります。	
	本機と無線 LAN ルーターの IP アドレス設定 (DHCP の設定を含む) を確認してください。 本機の DHCP 設定を ON にしているときは、本機の電源を OFF にし、再度電源をONにしてください。本機のIPアドレスが無線LANルーターなどの設定と合っているかを確認してください。 本機の DHCP 設定を OFF にしているときは、無線 LAN ルーターなどの機器のネットワークに合った IP アドレスを設定してください。 たとえば、無線 LAN ルーターの IP アドレスが「192.168.1.1.」のときは、本機の IP アドレスを「192.168.1.XXX」(*1)、サブネットマスクを「255.255.255.0」、ゲートウェイや DNS は「192.168.1.1.」に設定してください。 (*1)「192.168.1.XXX」の「XXX」には、他の機器と重複しない 2 ～ 248 の値を設定してください。	37
	アクセスポイントが SSID を隠す設定にしていませんか。 この場合、アクセスポイントのリスト画面に表示されないことがあります。表示されない場合は、本機の SSID 等を設定してください。	38
	アクセスポイントのセキュリティ設定が、WEP の 152 bit 長の暗号 KEY または SHARED KEY 認証を使用していませんか。本機は、WEP の 152 bit 長の暗号 KEY ならびに SHARED KEY 認証には対応しておりません。	

言語および国 / 地域コード表

言語コード表

言語名（言語コード）, 入力コード

Japanese (ja), **1001**
English (en), **0514**
French (fr), **0618**
German (de), **0405**
Italian (it), **0920**
Spanish (es), **0519**
Chinese (zh), **2608**
Dutch (nl), **1412**
Portuguese (pt), **1620**
Swedish (sv), **1922**
Russian (ru), **1821**
Korean (ko), **1115**
Greek (el), **0512**
Afar (aa), **0101**
Abkhazian (ab), **0102**
Afrikaans (af), **0106**
Amharic (am), **0113**
Arabic (ar), **0118**
Assamese (as), **0119**
Aymara (ay), **0125**
Azerbaijani (az), **0126**
Bashkir (ba), **0201**
Byelorussian (be), **0205**
Bulgarian (bg), **0207**
Bihari (bh), **0208**
Bislama (bi), **0209**
Bengali (bn), **0214**
Tibetan (bo), **0215**
Breton (br), **0218**
Catalan (ca), **0301**
Corsican (co), **0315**
Czech (cs), **0319**
Welsh (cy), **0325**
Danish (da), **0401**
Bhutani (dz), **0426**
Esperanto (eo), **0515**
Estonian (et), **0520**
Basque (eu), **0521**
Persian (fa), **0601**
Finnish (fi), **0609**
Fiji (fj), **0610**
Faroese (fo), **0615**
Frisian (fy), **0625**
Irish (ga), **0701**
Scots-Gaelic (gd), **0704**
Galician (gl), **0712**
Guarani (gn), **0714**
Gujarati (gu), **0721**
Hausa (ha), **0801**
Hindi (hi), **0809**
Croatian (hr), **0818**
Hungarian (hu), **0821**
Armenian (hy), **0825**
Interlingua (ia), **0901**
Interlingue (ie), **0905**
Inupiak (ik), **0911**
Indonesian (in), **0914**
Icelandic (is), **0919**
Hebrew (iw), **0923**
Yiddish (ji), **1009**
Javanese (jw), **1023**
Georgian (ka), **1101**
Kazakh (kk), **1111**
Greenlandic (kl), **1112**
Cambodian (km), **1113**
Kannada (kn), **1114**
Kashmiri (ks), **1119**
Kurdish (ku), **1121**
Kirghiz (ky), **1125**
Latin (la), **1201**
Lingala (ln), **1214**
Laothian (lo), **1215**
Lithuanian (lt), **1220**
Latvian (lv), **1222**
Malagasy (mg), **1307**
Maori (mi), **1309**
Macedonian (mk), **1311**
Malayalam (ml), **1312**
Mongolian (mn), **1314**
Moldavian (mo), **1315**
Marathi (mr), **1318**
Malay (ms), **1319**
Maltese (mt), **1320**
Burmese (my), **1325**
Nauru (na), **1401**
Nepali (ne), **1405**
Norwegian (no), **1415**
Occitan (oc), **1503**
Oromo (om), **1513**
Oriya (or), **1518**
Panjabi (pa), **1601**
Polish (pl), **1612**
Pashto, Pushto (ps), **1619**
Quechua (qu), **1721**
Rhaeto-Romance (rm), **1813**
Kirundi (rn), **1814**
Romanian (ro), **1815**
Kinyarwanda (rw), **1823**
Sanskrit (sa), **1901**
Sindhi (sd), **1904**
Sangho (sg), **1907**
Serbo-Croatian (sh), **1908**
Sinhalese (si), **1909**
Slovak (sk), **1911**
Slovenian (sl), **1912**
Samoan (sm), **1913**
Shona (sn), **1914**
Somali (so), **1915**
Albanian (sq), **1917**
Serbian (sr), **1918**
Siswati (ss), **1919**
Sesotho (st), **1920**
Sundanese (su), **1921**
Swahili (sw), **1923**
Tamil (ta), **2001**
Telugu (te), **2005**
Tajik (tg), **2007**
Thai (th), **2008**
Tigrinya (ti), **2009**
Turkmen (tk), **2011**
Tagalog (tl), **2012**
Setswana (tn), **2014**
Tonga (to), **2015**
Turkish (tr), **2018**
Tsonga (ts), **2019**
Tatar (tt), **2020**
Twi (tw), **2023**
Ukrainian (uk), **2111**
Urdu (ur), **2118**
Uzbek (uz), **2126**
Vietnamese (vi), **2209**
Volapük(vo), **2215**
Wolof (wo), **2315**
Xhosa (xh), **2408**
Yoruba (yo), **2515**
Zulu (zu), **2621**

国 / 地域コード表

国 / 地域名 , 入力コード , および国 / 地域コード

アメリカ, **2119, us**
アルゼンチン, **0118, ar**
イギリス, **0702, gb**
イタリア, **0920, it**
インド, **0914, in**
インドネシア, **0904, id**
オーストラリア, **0121, au**
オーストリア, **0120, at**
オランダ, **1412, nl**
カナダ, **0301, ca**
韓国, **1118, kr**
シンガポール, **1907, sg**
スイス, **0308, ch**
スウェーデン, **1905, se**
スペイン, **0519, es**
タイ, **2008, th**
台湾, **2023, tw**
中国, **0314, cn**
チリ, **0312, cl**
デンマーク, **0411, dk**
ドイツ, **0405, de**
日本, **1016, jp**
ニュージーランド, **1426, nz**
ノルウェー, **1415, no**
パキスタン, **1611, pk**
フィリピン, **1608, ph**
フィンランド, **0609, fi**
メキシコ, **1324, mx**
ロシア, **1821, ru**
ブラジル, **0218, br**
フランス, **0618, fr**
ベルギー, **0205, be**
ポルトガル, **1620, pt**
香港, **0811, hk**
マレーシア, **1325, my**

使用上のご注意

本機を移動するとき

本機を移動する場合は、必ずディスクを取り出し、iPod/iPhone コネクター、USB 端子、AUX IN 端子に接続した機器を取り外してください。

さらに本体の ⏻ STANDBY/ON ボタン（またはリモコンの**電源ボタン**を押し、本体前面部の POWER ON インジケーターが消えてから電源コードを抜いてください。ディスクを内部に入れたり、iPod/iPhone コネクター、USB 端子、AUX IN 端子に接続したまま移動すると故障の原因となります。

設置する場所

- 組み合わせて使用するテレビやステレオシステムの近くの安定した場所を選んでください。
- テレビやカラーモニターの上に本機を設置しないでください。また、カセットデッキなど、磁気の影響を受けやすい機器とは離して設置してください。
- 次のような場所は避けてください
- 直射日光のあたる所
- 湿気の多い所や風通しの悪い所
- 水がかかりやすい場所
- 極端に暑い所や寒い所
- 振動のある所
- ホコリの多い所
- 油煙、蒸気、熱があたる所（台所など）

上に物を載せない
本機の上に物を載せないでください。

通気孔をふさがない
毛足の長い敷物やベッド、ソファーの上などで使用したり、本機を布などでくるんで使用しないでください。放熱を妨げ、故障の原因となります。

熱を受けないように
本機をアンプなど、熱を発生する機器の上に載せないでください。ラックに入れる場合はアンプや他のオーディオ機器から出る熱を避けるため、アンプよりできるだけ下の棚に入れてください。

本機を使わないときは電源を切る

本機の電源がオンのときに、電波の状態によってはテレビ画面にしま模様が出たり、ラジオの音声に雑音が入ることがあります。このようなときは [高速起動モード] を [オフ] にして、本機の電源を切ってください。

結露について

冬期などに本機を寒いところから暖かい室内に持ち込んだり、本機を設置した部屋の温度を暖房などで急に上げたりすると、内部（動作部やレンズ）に水滴が付きます（結露）。結露したままでは本機は正常に動作せず、再生ができません。結露の状態にもよりますが、本機の電源を入れて 1 ～ 2 時間放置し、本機の温度を室温に保てば水滴が消え、再生できるようになります。
夏でもエアコンなどの風が、本機に直接あたると結露が起こることがあります。そのようなときは本機の設置場所を変えてください。

製品のお手入れについて

- 本体は柔らかい布でから拭きしてください。汚れがひどいときは水で 5 ～ 6 倍に薄めた中性洗剤に柔らかい布を浸してよく絞り、汚れを拭き取ったあと乾いた布で拭いてください。
- アルコール、シンナー、ベンジン、殺虫剤などが付着すると印刷、塗装などがはげることがあります。また、ゴムやビニール製品を長時間触れさせるとキャビネットを傷めます。
- 化学ぞうきんなどを使うときは、化学ぞうきんなどに添付の注意事項をよく読んでください。
- お手入れするときは、電源コードをコンセントから抜いてください。

レンズのクリーニングについて

レンズにゴミやホコリがたまると、音飛びしたり画像が乱れたりすることがあります。このようなときは、「保証とアフターサービス」（57 ページ）をお読みのうえ、清掃をご依頼ください。市販されているクリーニングディスクはレンズを破損する恐れがありますので、使用しないでください。

著作権について

本機は、ロヴィコーポレーションの米国特許および他の知的所有権によって保護された、著作権保護技術を搭載しています。解析や改造は禁止されていますので行わないでください。

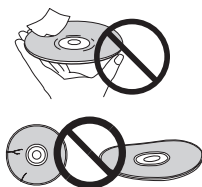
ディスクの取り扱いかた

保管

必ずケースに入れ、高温多湿の場所や直射日光の当たる場所・極端に温度の低い場所を避けて垂直に保管してください。
ディスクに付いている注意書は必ずお読みください。

ディスクのお手入れ

- ディスクに指紋やホコリが付いたときは、再生ができなくなることがあります。このようなときは、クリーニングクロスなどで内周から外周方向へ軽く拭いてください。そのとき、汚れたクリーニングクロスは使用しないでください。

- ベンジン、シンナーなどの揮発性の薬品は使用しないでください。また、レコードスプレー・帯電防止剤などは使用しないでください。
- 汚れがひどいときは、柔らかい布を水に浸してよく絞ってから汚れを拭き取り、そのあと乾いた布で水気を拭き取ってください。
- 損傷のあるディスク（ひびやそりのあるディスク）は使用しないでください。
- ディスクの信号面に傷や汚れをつけないでください。
- ディスクを 2 枚重ねて再生しないでください。
- ディスクに紙やシールなどを貼り付けないでください。ディスクにそりが発生し、再生できなくなる恐れがあります。また、レンタルディスクはラベルが貼ってある場合が多く、のりなどがはみ出している恐れがあります。のりなどのはみ出しがないことを確認してからご使用ください。

特殊な形のディスクについて

本機では、特殊な形のディスク（ハート型や六角形等）は再生できません。故障の原因になりますので、そのようなディスクはご使用にならないでください。

ディスクの結露について

冬期などにディスクを寒いところから暖かい室内に持ち込んだとき、ディスクの表面に水滴が付くことがあります（結露）。ディスクが結露していると再生が正常にできないことがありますので、ディスクの表面の水滴をよく拭き取ってから使用してください。

ネットワークを使った再生について

インターネットラジオやミュージックサーバーの再生には下記の技術が使われています。

Windows Media Player

Windows Media Player 11 および Windows Media Player 12 について、詳しくは 28 ページをご覧ください。

Windows Media Audio（WMA）ファイルの再生について

- 米国 Microsoft Corporation によって開発された音声圧縮技術です。
- Windows Media Player Ver.7、7.1、Windows Media Player for WindowsXP、または Windows Media Player 9Series を使ってエンコードできます。
- Windows Media は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- 米国 Microsoft Corporation の認証を受けたアプリケーションを使ってエンコードしてください。認証されていないアプリケーションを使うと正しく動作しないことがあります。

Windows Media DRM

Windows Media デジタル著作権管理 (DRM)(以下、WMDRM) は、コンピューター、デジタルオーディオプレーヤー、ネットワーク機器などの再生を防いだり、デジタルコンテンツを安全に配信するためのプラットフォームです。ミュージックサーバーのネットワークオーディオでは、WMDRM 10 for networked devices に基づいて機能します。WMDRM で保護されたコンテンツは WMDRM の機能を有するメディアサーバーと接続したときのみ再生できます。
コンテンツ所有者は、著作権を含む知的所有権を保護するために Windows Media デジタル著作権管理テクノロジー (WMDRM) を使用します。本製品は、WMDRM で保護されたコンテンツにアクセスするために WMDRM ソフトウェアを使用します。WMDRM ソフトウェアがコンテンツの保護に失敗した場合、コンテンツ所有者は保護されたコンテンツの再生やコピーのために WMDRM を使用しているソフトウェアの能力を無効にするよう、マイクロソフトに

要請することがあります。無効化は、保護されていないコンテンツには影響を与えません。保護されたコンテンツに対するライセンスをダウンロードするときは、マイクロソフトがそのライセンスと一緒に失効リストを含ませることがあることに同意する必要があります。コンテンツ所有者は、それらのコンテンツのアクセスに対して WMDRM をアップグレードすることを要求することがあります。もしもアップグレードを断ると、アップグレードを要求するコンテンツへアクセスすることができなくなります。
本製品は、米国 Microsoft Corporation の知的所有権により保護されています。米国 Microsoft Corporation の許可を得ずにこの技術を本製品以外で使用または頒布することは禁じられています。

DLNA

DLNA CERTIFIED® Audio Player
Digital Living Network Alliance (デジタル・リビング・ネットワーク・アライアンス) の略です。ローカルエリアネットワーク (LAN) 上で接続したメーカーの異なるパソコンやデジタル家電の動画、音楽、または画像データなどを相互で視聴できるようにするためのデータの圧縮方式や転送方式の標準化を進めている団体の名称です。
本機は DLNA Home Networked Device Interoperability Guidelines v1.5 に準じています。
DLNA® および DLNA CERTIFIED® は Digital Living Network Alliance の商標です。

ネットワークを使って再生できるもの

- 本機が対応している形式のファイルでも再生できないことがあります。
- 画像 / 動画ファイルは再生できません。
- 放送局リストで選択できる放送局でも再生できないことや、再生の状態が不安定になることがあります。
- 接続している機器の種類やソフトウェアのバージョンによって働かない機能があります。
- 対応しているファイルの形式は接続している機器によって異なります。接続している機器が対応していない形式のファイルは表示されません。詳しくはお使いの機器のメーカーにお問い合わせください。

ネットワークを使った外部コンテンツのご利用について

- 外部コンテンツのアクセスには高速インターネットへの接続が必要であり、プロバイダへの登録や契約が必要となります。第三者が提供するコンテンツのサービスは、予告なく、変更、中断、中止される可能性があり、パイオニアは、そのような事態に対していかなる責任も負いません。パイオニアは、外部コンテンツの提供サービスの継続や利用可能期間について、いかなる保証もしません。

ネットワークを使った再生時の動作について

- 接続している機器の性能や状態によって再生が停止したり、正しく再生できないことがあります。
- ネットワークの通信が混雑していると、ファイルが表示されない、または再生できないことがあります。ネットワーク上の機器と接続するときは 100BASE-TX のご利用をお勧めします。
- ネットワーク上の複数の機器が同じファイルを同時に再生すると再生が停止することがあります。
- 接続している機器にインターネットセキュリティーソフトウェアなどがインストールされているとネットワークに接続できないことがあります。

当社は、本機とネットワーク上で接続している機器の不具合やファイルまたはデータの破損などに関して、一切の責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。接続している機器のメーカー、またはプロバイダーにお問い合わせください。
本製品は、米国 Microsoft Corporation が所有する技術を使用しています。また、米国 Microsoft Licensing Inc. の許可を得ずに使用または頒布できません。
Microsoft®、Windows®7、Windows®Vista、Windows®XP、Windows®2000、Windows®Millennium Edition、Windows®98、WindowsNT® は米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。

aacPlus

AAC デコーダーは、Coding Technologies によって開発された aacPlus を使用しています。
（www.codingtechnologies.com）

FLAC ライセンスについて

FLAC Decoder
Copyright © 2000, 2001, 2002, 2003, 2004, 2005, 2006, 2007
Josh Coalson
Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

- Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
- Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.
- Neither the name of the Xiph.org Foundation nor the names of its contributors may be used to endorse or promote products derived from this software without specific prior written permission.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE COPYRIGHT HOLDERS AND CONTRIBUTORS "AS IS" AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE FOUNDATION OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

iPod/iPhone について

- 「Made for iPod」および「Made for iPhone」とは、それぞれ iPod あるいは iPhone 専用に接続するよう設計され、アップルが定める性能基準を満たしているとデベロッパによって認定された電子アクセサリであることを示します。アップルは、本製品の機能および安全および規格への適合について一切の責任を負いません。このアクセサリを iPod あるいは iPhone と使用することにより、無線の性能に影響を及ぼす可能性がありますのでご注意ください。

- Apple、AirPlay、iPad、iPod touch、iPod、iTunes および Mac は米国および他の国々で登録された Apple Inc. の商標です。
- AirPlay ロゴは Apple Inc. の商標です。

Wi-Fi® について

Wi-Fi CERTIFIED ロゴは Wi-Fi Alliance の認証マークです。

Wi-Fi Protected Setup Mark は Wi-Fi Alliance の商標です。

保証とアフターサービス

修理に関するご質問、ご相談

裏表紙に記載の修理受付窓口、またはお買い求めの販売店にご相談ください。

保証書（別添）について

保証書は必ず「販売店名・購入日」などの記入を確かめて販売店から受け取り、内容をよく読んで大切に保管してください。

保証期間はご購入日から 1 年間です。

補修用性能部品の最低保有期間

当社はこの製品の補修用性能部品を製造打ち切り後、最低 8 年間保有しています。性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

修理を依頼されるとき

46 ～ 51 ページに従って調べていただき、なお異常のあるときは、ご使用を中止し必ず電源プラグを抜いてから、お買い求めの販売店にご連絡ください。ご転居されたり、ご贈答品などで、お買い求めの販売店に修理のご依頼ができない場合は、「ご相談窓口のご案内・修理窓口のご案内」（裏表紙）をご覧になり、修理受付窓口にご相談ください。

ご連絡いただきたい内容

- ご住所
- お名前
- お電話番号
- 製品名：スタイリッシュ AV ミニコンポ
  型番：X-SMC5-K
- お買い上げ日
- 故障または異常の内容（できるだけ具体的に）

保証期間中は

修理に際しては、保証書をご提示ください。保証書に記載されている当社の保証規定に基づき修理いたします。

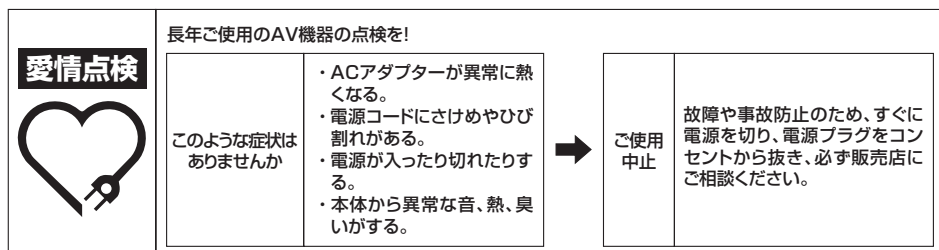
保証期間を過ぎているときは

修理すれば使用できる製品については、ご希望により有料で修理いたします。

本機は一般家庭用機器として作られたものです。一般家庭用以外（たとえば、飲食店等での営業用の長時間使用、車両、船舶への搭載使用）で使用し、故障した場合は、保証期間内でも有償修理を承ります。

愛情点検

長年ご使用のAV機器の点検を!

このような症状はありませんか	・ACアダプターが異常に熱くなる。 ・電源コードにさけめやひび割れがある。 ・電源が入ったり切れたりする。 ・本体から異常な音、熱、臭いがする。		ご使用中止	故障や事故防止のため、すぐに電源を切り、電源プラグをコンセントから抜き、必ず販売店にご相談ください。

K026_A_Ja

サービス拠点のご案内　※番号をよくお確かめの上でおかけいただきますようお願いいたします

サービス拠点への電話は、修理受付窓口でお受けします。（沖縄県の方は沖縄サービス認定店）
また、認定店は不在の場合もございますので、持ち込みをご希望のお客様は修理受付窓口にご確認ください。

●北海道地区

受付　月～金　9:30～18:00（土・日・祝・弊社休業日は除く）
☆拠点は、土曜も受付　9:30～12:00、13:00～18:00（弊社休業日は除く）

拠点	FAX	〒	住所
☆ 北海道サービスセンター	FAX 011-611-5694	〒064-0822	札幌市中央区北2条西20-1-3　クワザワビル
旭川サービス認定店	FAX 0166-55-7207	〒070-0831	旭川市旭町1条1丁目438-89
帯広サービス認定店	FAX 0155-23-7757	〒080-0015	帯広市西5条南28丁目1-1
函館サービス認定店	FAX 0138-40-6473	〒041-0811	函館市富岡町2-18-7

●東北地区

受付　月～金　9:30～18:00（土・日・祝・弊社休業日は除く）
☆拠点は、土曜も受付　9:30～12:00、13:00～18:00（弊社休業日は除く）

拠点	FAX	〒	住所
☆ 東北サービスセンター	FAX 022-375-4996	〒981-3121	仙台市泉区上谷刈6-10-26
山形サービス認定店	FAX 023-615-1627	〒990-0023	山形市松波1-8-17
郡山サービス認定店	FAX 024-991-7466	〒963-8861	郡山市鶴見坦1-9-25　クレールアヴェニュー伊藤第2ビル1F D号
盛岡サービス認定店	FAX 019-656-7648	〒020-0051	盛岡市下太田下川原153-1
青森サービス認定店	FAX 017-735-2438	〒030-0821	青森市勝田2-16-10
八戸サービス認定店	FAX 0178-44-3351	〒031-0802	八戸市小中野3-16-8
秋田サービス認定店	FAX 018-869-7401	〒010-0802	秋田市外旭川字梶の目345-1

●東京都内

受付　月～土　9:30～18:00（日・祝・弊社休業日は除く）

拠点	FAX	〒	住所
世田谷サービスステーション	FAX 03-5357-0770	〒156-0055	世田谷区船橋5-28-6　吉崎ビル1F
北東京サービスステーション	FAX 03-3944-7800	〒170-0002	豊島区巣鴨1-9-4　第三久保ビル1F
多摩サービスステーション	FAX 042-524-5947	〒190-0003	立川市栄町4-18-1　エクセル立川1 F

●関東･甲信越地区

受付　月～金　9:30～18:00（土・日・祝・弊社休業日は除く）
☆拠点は、土曜も受付　9:30～12:00、13:00～18:00（弊社休業日は除く）

拠点	FAX	〒	住所
☆千葉サービスステーション	FAX 047-773-9354	〒275-0016	習志野市津田沼3-20-22
☆北関東サービスセンター	FAX 048-651-8030	〒331-0812	さいたま市北区宮原町1-310-1
水戸サービス認定店	FAX 029-248-1306	〒310-0844	水戸市住吉町307-4
宇都宮サービス認定店	FAX 028-657-5882	〒321-0912	宇都宮市石井町3373-21
群馬サービス認定店	FAX 0270-22-1859	〒372-0801	伊勢崎市宮子町1191-17　パサージュ808伊勢崎101号
新潟サービス認定店	FAX 025-374-5756	〒950-0982	新潟市中央区堀之内南1-20-11
佐渡サービス指定店　横山電機商会	FAX 0259-63-3400	〒952-1209	佐渡市金井町千種1158-1
☆南関東サービスセンター	FAX 045-943-3788	〒224-0037	横浜市都筑区茅ヶ崎南2-18-1　ベルデユール茅ヶ崎
神奈川西サービス認定店	FAX 046-231-1209	〒243-0422	海老名市中新田4-10-53　中山ビル1F
三宅島サービス指定店　勝見電機	FAX 04994-6-1246	〒100-1211	三宅村大字坪田
松本サービス認定店	FAX 0263-48-0575	〒390-0852	松本市大字島立180-5　パイオニア松本拠点1F
長野サービス認定店	FAX 026-229-5250	〒380-0935	長野市中御所1-24
甲府サービス認定店	FAX 055-228-8003	〒400-0035	甲府市飯田4-9-14

●中部地区

受付　月～金　9:30～18:00（土・日・祝・弊社休業日は除く）
☆拠点は、土曜も受付　9:30～12:00、13:00～18:00（弊社休業日は除く）

拠点	FAX	〒	住所
☆中部サービスセンター	FAX 052-532-1148	〒451-0063	名古屋市西区押切2-8-18
岡崎サービス認定店	FAX 0564-33-7080	〒444-0931	岡崎市大和町字荒田36-1　大和ビレッジB-1
津サービス認定店	FAX 059-213-6712	〒514-0821	津市垂水522-5
岐阜サービス認定店	FAX 058-274-5256	〒500-8384	岐阜市薮田南4-2-10
静岡サービス認定店	FAX 054-236-4063	〒422-8034	静岡市駿河区高松1-17-17
沼津サービス認定店	FAX 055-967-8455	〒410-0876	沼津市北今沢12-7
浜松サービス認定店	FAX 053-422-1401	〒430-0912	浜松市中区茄子町355-1
金沢サービス認定店	FAX 076-240-0550	〒920-0362	金沢市古府3-60-1　K2ビル1F
富山サービス認定店	FAX 076-425-3027	〒939-8211	富山市二口町1-7-1
福井サービス認定店	FAX 0776-27-1768	〒910-0001	福井市大願寺3-5-9

●関西地区			受付　月～金　9:30～18:00（土・日・祝・弊社休業日は除く） ☆拠点は、土曜も受付　9:30～12:00、13:00～18:00（弊社休業日は除く）
☆関西サービスセンター	FAX	06-6310-9120	〒564-0052　吹田市広芝町5-8
神戸サービス認定店	FAX	078-265-0832	〒651-0093　神戸市中央区二宮町1丁目10-1　ローレル三宮ノースアベニュー1F
姫路サービス認定店	FAX	0792-51-2656	〒671-0224　姫路市別所町佐土1-126
和歌山サービス認定店	FAX	0734-46-3026	〒641-0014　和歌山市毛見1126-4
京都サービス認定店	FAX	075-644-7975	〒601-8444　京都市南区西九条森本町4　イッツアイランド1F
奈良サービス認定店	FAX	0742-50-0889	〒630-8141　奈良市南京終町1-174-2
福知山サービス認定店	FAX	0773-24-5375	〒620-0055　福知山市篠尾新町2-74　カマハチマンション

●中国・四国地区			受付　月～金　9:30～18:00（土・日・祝・弊社休業日は除く） ☆拠点は、土曜も受付　9:30～12:00、13:00～18:00（弊社休業日は除く）
☆中四国サービスセンター	FAX	082-534-5859	〒733-0003　広島市西区三篠町2-4-22 NKビル1F
岡山サービス認定店	FAX	086-250-2724	〒700-0975　岡山市北区今3-10-10　備前ビル1F
松江サービス認定店	FAX	0852-22-7779	〒690-0017　松江市西津田4-5-40　（有）テクピット内
福山サービス認定店	FAX	0849-31-2791	〒720-0815　福山市野上町3-12-9
鳥取サービス認定店	FAX	0857-28-8011	〒680-0934　鳥取市徳尾422-2
徳山サービス認定店	FAX	0834-33-5759	〒745-0006　周南市花畠町3-11　森広事務所1F
高松サービス認定店	FAX	087-813-6112	〒760-0080　高松市木太町862-1
徳島サービス認定店	FAX	088-669-6076	〒770-8023　徳島市勝占町中須92-1　大松ジョリカ地下1階107号
高知サービス認定店	FAX	088-802-3321	〒780-0051　高知市愛宕町3-12-13　晃栄ビル1F
松山サービス認定店	FAX	089-911-5608	〒791-8013　松山市山越5-12-8

●九州地区			受付　月～金　9:30～18:00（土・日・祝・弊社休業日は除く） ☆拠点は、土曜も受付　9:30～12:00、13:00～18:00（弊社休業日は除く）
☆九州サービスセンター	FAX	092-412-7460	〒812-0016　福岡市博多区博多駅南2-1-9　ヤマエ博多駅南ビル1F
北九州サービス認定店	FAX	093-941-8354	〒802-0044　北九州市小倉北区熊本1丁目9-4　植田ビル1F
博多サービス認定店	FAX	092-461-1643	〒812-0006　福岡市博多区上牟田2-6-7
西九州サービス認定店	FAX	0952-20-1991	〒840-0201　佐賀市大和町大字尼寺2688-1
長崎サービス認定店	FAX	095-849-4606	〒852-8145　長崎市昭和1丁目12-10　クリスタルハイツ平野
熊本サービス認定店	FAX	096-331-3323	〒861-2118　熊本市花立4-9-31
大分サービス認定店	FAX	097-551-2049	〒870-0921　大分市萩原3-23-15　日商ビル101
宮崎サービス認定店	FAX	0985-27-3136	〒880-0821　宮崎市浮城町98-1
鹿児島サービス認定店	FAX	099-201-3803	〒890-0034　鹿児島市田上6丁目29-55

●沖縄県			受付　月～金　9:30～18:00（土・日・祝・弊社休業日は除く）
沖縄サービス認定店	TEL	098-987-1120	〒902-0073　那覇市上間413　琉電アパート1-5
	FAX	098-987-1121	

平成23年7月現在　　記載内容は、予告なく変更させていただくことがありますので予めご了承ください。

製品のお手入れについて

通常は、柔らかい布でから拭きしてください。汚れがひどい場合は５～６倍に薄めた中性洗剤に柔らかい布を浸してよく絞り、汚れを拭き取ったあと乾いた布で拭いてください。アルコール、シンナー、ベンジン、殺虫剤などが付着すると印刷、塗料などがはげることがありますのでご注意ください。また、ゴムやビニール製品を長時間触れさせることも、キャビネットを傷めますので避けてください。化学ぞうきんなどをお使いの場合は、化学ぞうきんなどに添付の注意事項をよくお読みください。お手入れの際は電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。

音のエチケット

楽しい音楽も時と場所によっては気になるものです。隣近所へのおもいやりを十分にいたしましょう。ステレオの音量はあなたの心がけ次第で大きくも小さくもなります。特に静かな夜間には小さな音でも通りやすいものです。夜間の音楽鑑賞には特に気を配りましょう。近所へ音が漏れないように窓を閉めたりするのも一つの方法です。お互いに心を配り、快い生活環境を守りましょう。

仕様

アンプ部

実用最大出力

　左右 .... 20 W+20 W

(JEITA 1 kHz、10 %、8 Ω)

スピーカー部

型式..................................パッシブラジエーター式

スピーカー構成

　フルレンジ...............................6.6 cm コーン型

　パッシブラジエーター............7.7 cm コーン型

再生周波数帯域........................ 60 Hz ～ 20 kHz

電源・その他

iPod/iPhone .... 5 V、1 A

USB...5 V、500 mA

AS-BT200 ....5 V、100 mA

消費電力 .... 27 W

待機時消費電力.. 0.5 W

待機時消費電力（インターネットラジオ入力で [高速起動モード] が [オン] に設定されているとき）

.... 16 W

外形寸法（幅）x（高さ）x（奥行）

.........................520 mm x 218 mm x 156 mm

本体質量 .... 3.9 kg

AC アダプター

電源電圧

.... AC 100 V ～ 240 V、50 Hz/60 Hz

定格出力 ....DC 19 V、3.42 A

付属品

リモコン 1

単 4 形乾電池 (AAA/R03)................................. 2

FM 簡易アンテナ 1

ビデオケーブル.. 1

AC アダプター 1

ステッカー 1

保証書 1

電源コード

取扱説明書（本書）

メモ

- 上記の仕様および外観は改良のため予告なく変更することがあります。
- 記載の社名および製品名は、各社の商標または登録商標です。

＜各窓口へのお問い合わせの時のご注意＞
「0120」で始まるフリーコールおよびフリーコールは、携帯電話・PHS・一部のＩＰ電話などからは、ご使用になれません。
また、【一般電話】は、携帯電話・PHS・ＩＰ電話などからご利用可能ですが、通話料がかかります。
正確なご相談対応のために折り返しお電話をさせていただくことがございますので発信者番号の通知にご協力いただきますようお願いいたします。

ご相談窓口のご案内

※番号をよくお確かめの上でおかけいただきますようお願いいたします

パイオニア商品の修理・お取り扱い（取り付け・組み合わせなど）については、お買い求めの販売店様へお問い合わせください。

商品についてのご相談窓口

● 商品のご購入や取り扱い、故障かどうかのご相談窓口およびカタログのご請求について

カスタマーサポートセンター（全国共通フリーコール）

受付時間　月曜～金曜9:30～18:00、土曜9:30～12:00、13:00～17:00（日曜・祝日・弊社休業日は除く）

■家庭用オーディオ/ビジュアル商品　0120－944－222　一般電話　044－572－8102
■ファックス　044－572－8103
■インターネットホームページ　http://pioneer.jp/support/
※商品についてよくあるお問い合わせ・メールマガジン登録のご案内・お客様登録など

修理窓口のご案内

※番号をよくお確かめの上でおかけいただきますようお願いいたします

修理をご依頼される場合は、取扱説明書の『故障かな？と思ったら』を一度ご覧になり、故障かどうかご確認ください。それでも正常に動作しない場合は、①型名②ご購入日③故障症状を具体的に、ご連絡ください。

修理についてのご相談窓口

● お買い求めの販売店に修理の依頼が出来ない場合

修理受付窓口

受付時間　月曜～金曜9:30～18:00、土曜9:30～12:00、13:00～17:00（日曜・祝日・弊社休業日は除く）

■電話　0120－5－81028（ゴーパイオニア）　一般電話　044－572－8100
■ファックス　0120－5－81029
■インターネットホームページ　http://pioneer.jp/support/repair/
※家庭用オーディオ/ビジュアル商品はインターネットによる修理のお申し込みを受付けております

沖縄サービス認定店（沖縄県のみ）

受付時間　月曜～金曜9:30～18:00（土曜・日曜・祝日・弊社休業日は除く）

■一般電話　098－987－1120
■ファックス　098－987－1121

部品のご購入についてのご相談窓口

● 部品（付属品、リモコン、取扱説明書など）のご購入について

部品受注センター

受付時間　月曜～金曜9:30～18:00、土曜9:30～12:00、13:00～17:00（日曜・祝日・弊社休業日は除く）

■電話　0120－5－81095　一般電話　044－572－8107
■ファックス　0120－5－81096

平成23年7月現在　記載内容は、予告なく変更させていただくことがありますので予めご了承ください。　VOL.045

J2P36001A SH Ⓚ00/00

パイオニア株式会社　〒212-0031 神奈川県川崎市幸区新小倉1番1号